

6 地 プ 第 15 号
令和6年9月9日

大学・地域共創プラットフォーム香川
総会委員 各位

大学・地域共創プラットフォーム香川
会長 上田 夏生

大学・地域共創プラットフォーム香川
令和6年度第1回総会（書面審議）について

平素より、本プラットフォームの活動に関し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年度第1回総会を、書面による審議により開催いたします。

つきましては、ご回答を別紙1の表決書にて、下記によりご提出くださいますようお願いいたします。

なお、議案については、令和6年8月6日に開催した令和6年度第1回運営委員会においてご承認いただいていることを申し添えます。

差し迫ってのお願いとなり恐縮ですが、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

記

議 案：別紙2のとおり

回答期限：令和6年9月26日（木）

提出方法：表決書をスキャンし、データを下記メールアドレスにメールで送信してください。【platform-kagawa-h@kagawa-u.ac.jp】

【問合せ先】

大学・地域共創プラットフォーム香川事務局
藤澤、児玉

TEL：087-832-1368

E-mail：platform-kagawa-h@kagawa-u.ac.jp

別紙 1

令和 6 年度第 1 回総会 表決書

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和 6 年度第 1 回総会の議案につき、以下の
とおり表決します。

- | | | |
|--------|--|-------|
| 第 1 議案 | 令和 5 年度事業実施報告（案）について | 可 ・ 否 |
| 第 2 議案 | 令和 5 年度収支決算報告（案）について | 可 ・ 否 |
| 第 3 議案 | 次期中長期計画（2024 年度～2028 年度）について
～高等教育機関を基点とした地域の活性化～ | 可 ・ 否 |
| 第 4 議案 | 規約改正について | 可 ・ 否 |

その他ご意見があればご記入ください

令和 6 年 月 日

団体名 _____

委員名 _____（自署又は記名押印）

【大学・地域共創プラットフォーム香川】

令和 6 年度第 1 回総会（書面審議）に係る議案説明および報告

議題

1. 令和 5 年度事業実施報告（案）について（資料 1－1～資料 1－3）

令和 5 年度実施事業及び取組項目は資料 1－1、1－2 のとおりである。共創推進強化事業計 3 事業、進学・教育部会計 11 事業、就職・産業振興部会計 7 事業、地域活性化部会計 4 事業を実施し、合計 25 事業を実施した。

また、大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金により人材の育成・定着及び人材が活躍する場の形成を目的に、産学官が連携・共創し、地域課題の解決に挑戦する取組みに対して補助金を交付した。令和 5 年度は 10 件を採択したところであり、詳細は資料 1－3 のとおりである。

令和 5 年度における成果としては、次の 2 点が挙げられる。

①地域の住民を対象にした地域共創タウンミーティングや高校生等の保護者を対象として県内大学等の魅力を発信する高大連携キャリアデザイン研修など、新たに 10 事業を展開した。

②大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金により、産学官の新たな連携を創出することができた。

本案についてご審議いただきたい。

2. 令和 5 年度収支決算報告（案）について（資料 2）

令和 5 年度収支決算は資料 2 のとおりである。収入の部は、前年度繰越額 1,239,795 円、35 機関からの会費収入 8,100,000 円、県補助金（産学官共創チャレンジ支援補助金）11,247,000 円、預金利息 51 円の合計で 20,586,846 円であった。支出の部については、事業費と事務費、事業費（県補助対象）に区分した。事業費については、デジタルキャンパスガイド作成、企業向けアンケート調査、産学官連携交流会開催費などとして 4,014,924 円。事務費については、事務局運営費として、事務局専任職員の人件費、ホームページ更新費、通信費などとして 4,293,583 円であった。また、事業費（県補助対象）については、補助金精算額として 11,247,000 円を計上し、支出の部の合計は 20,586,846 円であった。次年度繰越額は、1,031,339 円である。

なお、監事の香川県商工会議所連合会及び高松市による会計監査を受け、適切に処理されていることが認められている。本案についてご審議いただきたい。

3. 次期中長期計画（2024 年度～2028 年度）について～高等教育機関を基点とした地域の活性化～（資料 3）

「私立大学等改革総合支援事業」は、私立大学・短大を対象とする文部科学省の補助事業である。本補助事業には 4 つの申請類型があり、その一つが「地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型）」である。本補助事業の申請要件として、私立大学・短大が所属する地域連携プラットフォームにおいて、高等教育機関を基点とした中長期計画が策定されていることが要件となっている。

2022 年度及び 2023 年度における「旧大学コンソーシアム香川中長期計画（2019 年度～2023 年度）」の暫定的な使用について、令和 4 年度第 1 回総会において承認をいただいたところであるが、当該計画期間が 2023 年度で満了することから、私立大学等改革総合支援事業の要件を満たすため、次期中長期計画を策定する必要がある。

本中長期計画はこれまで同様、高等教育機関が関係する事項についての計画である。本案についてご審議いただきたい。

4. 規約改正について（資料4－1、資料4－2）

私立大学等改革総合支援事業では、地域連携プラットフォームの選定要件として、中長期計画の策定と中長期計画の実施状況について評価することが求められている。

現行の規約第12条第1項では「中長期計画の企画・立案に関すること」を運営委員会の役割として定めているが、新たに「評価に関すること」を役割に加えることとし、規約改正を行うものである。本案についてご審議いただきたい。

報告

1. 令和5年度事業達成評価について（資料5）

私立大学等改革総合支援事業の要件を満たすために、「旧大学コンソーシアム香川中長期計画（2019年度～2023年度）」の実施状況について評価を行う必要がある。当該計画の取組内容に該当する事業を抜き出して、令和5年度の実施内容を基に各部会において自己評価を行い、3部会合同連絡会において内容を取りまとめた。「当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が必要である」と判断し、総合的にB評価とした。本評価については、令和6年度第1回運営委員会で承認をいただいたところであり、報告するものである。

2. 令和6年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金について（資料6）

令和6年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金について、30件の応募があり、17件を採択した。（交付決定総額3,000万円）各事業の具体的な内容は、資料6のとおりである。

3. 令和6年度名義使用の許諾について（資料7）

後援及び共催名義の使用について、6件の申請があり、許諾を行った。（後援名義使用：5件、共催名義使用1件）内容については資料7のとおりである。

【大学・地域共創プラットフォーム香川】
令和6年度第1回総会 議事次第

議題

1. 令和5年度事業実施報告（案）について（資料1－1、1－2、1－3） P1
2. 令和5年度収支決算報告（案）について（資料2） P25
3. 次期中長期計画（2024年度～2028年度）について（資料3） P29
～高等教育機関を基点とした地域の活性化～
4. 規約改正について（資料4－1、4－2） P53

報告

1. 令和5年度事業達成評価について（資料5） P61
～旧大学コンソーシアム香川中長期計画に基づく評価～
2. 令和6年度大学・地域共創プラットフォーム香川
産学官共創チャレンジ支援補助金について（資料6） P65
3. 令和6年度名義使用の許諾について（資料7） P69

令和5年度事業実施報告(案)

1. 共創推進強化事業(共通)

取 組	実施概要
① 地域共創タウンミーティングの開催	地域共創タウンミーティング in まんのう町を開催(9/25)
② メタバース等を活用した地域 DX の実証	香川大学において、メタバースを活用した県内企業等見学ツアーを開催(8/29 開催、8/30～9/5 メタバース空間自由訪問期間) 【参加者】 当日 50 名(香川大学 41 名、四国学院大学5名、高松大学4名) 自由訪問 27 名(香川大学 27 名)
③ プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業	大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金を創設し、産学官による新たな連携事業を推進 【交付決定数】 10 件

2. 高大連携・進学推進事業 (進学・教育部会)

取 組	実施概要
① 出前講座・体験講座等への講師派遣	出前講座実施件数:75件 県内大学等で実施する出前講座の情報を集約し、県内高校へ周知 香川わくわく子ども大学開設講座数:13 講座 参加数:小学生 286 名(親子 232 組) 各県内大学等がそれぞれの特色を生かして、県内小学生を対象とする講座を開設
② 県内大学等合同進学説明会開催	4校(香川中央高校、高松中央高校、小豆島中央高校、高松東高校)で実施。延べ 792 名の高校生に対し、県内大学の魅力等を発信 また、県内高校卒業・県内大学進学・県内企業就職の OB/OG が参加し、ロールモデルとして県内大学等の魅力を PR
③ 合同大学説明会・交流会開催	県内高校教員を対象とする県内大学等による合同の説明会・交流会の開催に向けた検討
④ 高大連携キャリアデザイン研修	香川県高等学校 PTA 連合会との連携により、保護者を対象とする「第1回県内大学・短大合同進学説明会」を開催(12/9) 【参加者】 県内高校保護者・生徒・教員 対面約 190 名、オンライン約 140 名
⑤ 探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣	高松北高校に徳島文理大学の教員を派遣(11/24)
⑥ デジタルキャンパスガイドの作成・公開	県内大学等の情報をまとめた Web サイト「かがわキャンパスガイド」を作成・公開(9/28 公開) 高校1、2年生対象に、学習アプリでの広告配信(3/6～3/11) 【閲覧数】 2,706名(3/31 時点)

3. 大学等連携強化事業（進学・教育部会）

取 組	実施概要
① 単位互換	開設科目数 554 受講者数 10人
② 大学等教員のFD・SD研修の実施	・「地方大学の新たな選択肢～これからの魅力ある地方大学とは～」(9/22、PF香川主催)参加者数 27名 ・危機管理シンポジウム(12/4、香川大学主催、PF香川共催) 参加者数 189名(会場69名、オンライン120名) ・数理・データサイエンス・AI共育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム(3/6、香川大学主催)参加者数 【参加者】92名(会場41名、オンライン51名)
③ 国際交流会(学生)の開催	県内大学等の留学生を対象とする交流会を開催(12/17) 【参加者】 県内大学等留学生 5名(カンボジア、韓国、中国)
④ リスクマネジメント活動	危機管理シンポジウム(12/4、香川大学主催、PF香川共催) 参加者数 189名(会場69名、オンライン120名)
⑤ 地域における高等教育の中長期 グランドデザイン検討会	講師(リクルート進学総研所長 小林浩氏)を招聘し、県内大学等の担当者向けの講演を実施、意見交換(9/22)

4. キャリア支援事業（就職・産業振興部会）

取 組	実施概要
① 「かがわーくフェア」の強化・充実	令和6年3月大学・短期大学・高等専門学校・専修学校などの卒業予定者(既卒者含む)及び一般採用希望者(就職氷河期世代を含む)を対象とした、対面方式による「就職面接会」及びオンライン形式による「個別面接」を開催 【参加者】 令和5年4月開催 対面 延148名/オンライン 延27名 令和6年3月開催 対面 延 142 名
② 業種別オンライン県内企業見学ツアー	香川県内企業による動画等を用いた業種別の企業説明会を開催 【参加者】(全て web 参加者) 8/23 16名 8/31 25名 9/6 45名 86 名(香川大学 23 名、四国学院大学4名、徳島文理大学9名、高松大学・高松短期大学 6 名、香川短期大学 38 名、香川高専6名)
③ うどん県の自治体で働こう大懇談会	香川県内の自治体等の担当者や OB/OG が一堂に集まる大懇談会を開催(9/20) 【参加者】 19 名(香川大学 18 名、四国学院大学 1 名)
④ キャリア支援研修会	株式会社レクザムの人事担当者が、県内大学等学生を対象に企業目線での就職活動のポイントを分かりやすく解説(10/24) 【参加者】 13名(香川大学3名、四国学院大学2名、徳島文理大学4名、高松大学4名)

⑤ 学生の就職先選定等の実態把握と分析	就職先選定時に学生が重視するものと県内企業が採用活動時に重視するものなどのギャップを把握し、今後の取組みにつなげていくために、県内企業(1,000社)を対象とする採用活動に関するアンケート調査を実施(地域活性化部会と連携)し、調査報告書を PF 構成員に周知するとともにホームページで公開
---------------------	--

5. 地域企業魅力発信強化事業（就職・産業振興部会）

取 組	実施概要
① 学生による企業インタビューシッ プの実施	高校生・大学生等が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューし、魅力ある地元企業を知ってもらう「共育型インターンシップ」、「インタビューシッ」を実施 【高校生】 4校(三木高校、高松商業高校、飯山高校、志度高校) 225 名 【大学生】 高松大学 9名
② 高校、大学等のイベント等を活用 した地域の魅力発信	香川大学祭に香川県漁業協同組合連合会、香川県農業協同組合中央会がブース出展し、県産農畜水産物やその生産に関わる団体の魅力発信 【参加者】 464 名(大学生 270 名、その他 194 名)

6. 地域活性化実践事業（地域活性化部会）

取 組	実施概要
① 学生による観光資源の情報発信 等	学生や市町の地域おこし協力隊が自治体職員と連携して、取材・記事作成を行い、若者を惹きつける県内の観光資源等について、県公式 SNS等に記事を投稿し、若者目線で県内地域の魅力を発信 【大学生】 ①9月:高松市内店舗 ②・③10月:東讃地域観光スポット 【協力隊】 ④・⑤2月:小豆島町内 ⑥・⑦2月:三豊市内 3/15時点リーチ数 ①:15,350 ②:26,489 ③:18,692 ④:8,019 ⑤:12,472 ⑥:14,526 ⑦:13,038
② アンケート調査の詳細分析等と対 策検討	昨年度実施した就活生へのアンケート調査結果を定性的に深掘りするため、大学生や企業社員へのインタビュー調査を実施(19名)。両調査結果を基に産学官メンバーで、若者の県内定着に向けた対策を検討
③ 関係案内所等の先進事例勉強会 の開催等	地域活性化に取り組む県内の先進事例から学び、他地域への展開を図るため、スタートアップや地域の産業界による人材育成の取組みをテーマとする勉強会を三豊市で開催 【参加者】 大学教職員、大学生、自治体職員、地域づくり団体等 39名
④ 産学官関係者の連携強化に向け た交流促進	産学官関係者が一堂に会し、プレゼンテーションや懇親会をとおして相互理解を深め、新たな連携事業創出の基盤づくりを目的とする交流会を開催(2/2) 【参加者】 大学教職員、経済団体職員、企業役員・社員、自治体職員等 97名

大学・地域共創プラットフォーム香川 共通事業 令和5年度事業報告（詳細）

資料1-2

事業名	地域共創タウンミーティングinまんのう町
実施主体	大学・地域共創プラットフォーム香川事務局
事業目的	地域住民の方から地域が抱える課題やその課題に対する考え方を伺い、産学官の様々な主体が意見交換を行うことにより、大学・地域共創プラットフォーム香川の今後の取組みに生かす
事業内容	<u>1 開催日等</u> (1) 日 時：令和5年9月25日 (2) 場 所：まんのう町役場 <u>2 参加者</u> ・まんのう町住民5名 ・まんのう町職員1名 ・PF構成員5名 <u>3 開催内容等</u> ・まんのう町の協力のもと、まんのう町住民とPF構成員が地域課題や解決策などについて意見交換 ・空き家対策のための古民家改修補助や豊かな自然という強みを生かしたまんのう町の魅力発信など、意見交換の内容は多岐に渡り、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けたプラットフォームの今後の取組みの検討材料となった



大学・地域共創プラットフォーム香川 共通事業 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	メタバース等を活用した地域DXの実証
実施主体	香川大学
事業目的	①メタバース等を活用した地域DXの実証 ②地域の業界や企業等の業務や魅力、課題を知り、学生の県内企業等への理解及び将来のキャリア意識の向上を図る
事業内容	<u>1 開催日</u> 令和5年8月29日 ※8月30日～9月5日は自由見学期間 <u>2 参加者</u> 学 生：50名（香川大学41名、四国学院大学5名、高松大学4名）全学年対象 ※自由見学期間に27名（香川大学27名） 企 業：県内企業等17団体（県内企業15、自治体2） <u>3 開催内容等</u> (1) 開催内容：メタバースに県内企業等がブースを設置し、学生は興味を持った県内企業等の担当者から説明を受け、質疑応答 (2) アンケート：学生アンケートの結果、県内企業への理解度が向上するとともに、自身のキャリア観の醸成につながったことが分かった。



大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	出前講座・体験講座等への講師派遣
実施主体	せとうち観光専門職短期大学（出前講座）、徳島文理大学（香川わくわく子ども大学）
事業目的	出前講座や香川わくわく子ども大学の実施により、地域の教育活動を支援する
事業内容	1 出前講座・体験講座等への講師派遣 ①高校や中学校に大学等の教職員が出向き授業や講演を実施 ・実施数：75件 ・実施後アンケート：回答数22件 - 講座の内容について 期待以上だった50.0% 期待通りだった50.0% ②小学生を対象とする「香川わくわく子ども大学」を開設 ・開催数：13講座（徳島文理大学6講座、高松大学2講座、香川短期大学5講座） ・参加者数：小学生286名 ・実施後アンケート：回答数200件（満足度：とても満足できた84.5%,満足できた15.0%）



大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	県内大学等合同進学説明会
実施主体	香川県
事業目的	県内大学等への理解を深め、若者の県内定着を促進
事業内容	1 開催日等・参加生徒数 ①香川中央高校：令和5年6月15日／2年生 283名 ②高松中央高校：令和5年7月3日／1年生 134名 ③小豆島中央高校：令和5年7月20日／全学年希望者 135名 ④高松東高校：令和5年9月27日／1年生 240名 2 開催内容等 ・県内大学5校、短期大学3校が県内高校へ出向き県内大学の魅力を発信 ・高校生が県内大学等への進学後のイメージがつかめるよう、県内大学等に進学し、県内企業に就職した卒業生がロールモデルとして合同進学説明会に参加



大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	高大連携キャリアデザイン研修
実施主体	高松大学・高松短期大学
事業目的	県内高校生の保護者を対象とする研修会を実施し、県内大学等に対する認知度向上を図り、自県大学進学率の向上に繋げる
事業内容	1 開催日等 (1) 開催日：令和5年12月9日 (2) 場所：かがわ国際会議場 2 参加者 県内高校生・保護者・高校教員等 【会場】 約190名 【オンライン】 約140名 3 開催内容等 ・ 県高等学校PTA連合会と連携し、 「第1回県内大学・短大合同進学説明会」を開催 ・ 講演「保護者のためのキャリアガイダンス」 講師：山根正義氏（代々木ゼミナール大阪南校主幹研究員） ・ 県内大学5校・短大3校による進学説明会 学校の特色、設置学部・学科の教育内容、入試制度、奨学金制度 など



大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣
実施主体	四国学院大学
事業目的	1校以上の高校に大学教員等を派遣し、高校の教育活動を支援する。
事業内容	1 開催日等 開催日：令和5年11月24日(金) 開催場所：香川県立高松北高校 2 派遣講師 徳島文理大学 文学部長 濱田 宣氏 3 内容：探究型学習支援プロジェクトとして、 高松北高校2年グローバルスタディ成果発表会に 講師を派遣し、生徒の研究成果を指導・講評 ＜発表テーマ＞ ・ どのように叱れば生徒は素直に受け入れるのか ・ 次世代のキャンプ場：Next Generation Camping ・ 交通事故を減らすためには ・ 人間科学 × サウナ ～運動後の疲労を早くとるには～ ・ 運動部活動の地域移行について ・ 身近な食品ロスについて



大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	デジタルキャンパスガイドの作成・公開
実施主体	香川県
事業目的	中学・高校教員の進路指導や生徒・保護者の進路選択にあたって役立つ情報を集約化し、県内大学・短期大学・高等専門学校や香川県の魅力を発信することで、若者の県内定着促進を図る
事業内容	1 公開日 令和5年9月28日 2 閲覧者数 2,706名(3/31時点) 3 広報 - 県内高校生向けに周知チラシを配布(10,500部。県内高校43校、中学校71校等) - 学習アプリ「Studyplus」にスポット広告掲載 4 スポット広告検証結果（サイトの課題点等） - トップページから各大学詳細ページへの流入者が少ないため、各大学紹介ページを見落とししている可能性が高いと考えられる。その為、各大学紹介ページへの導線を分かりやすくするなどの対応を検討する必要があるのではないかと考える。 - 最終的には各大学HPのトップページに誘導されているため、かがわキャンパスガイドに流入してきたユーザーを活用できていない状況にある。資料請求や見学などの分かりやすいゴール設定の検討する必要があるのではないかと考える。



大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	大学間の単位互換
実施主体	香川県立保健医療大学
事業目的	県内大学生等に多様かつ柔軟な学修の機会を提供することを目的とする。
事業内容	1 開設科目数等 554科目：香川大学、香川県立保健医療大学、四国学院大学、高松大学、徳島文理大学、香川高等専門学校、香川短期大学、高松短期大学 2 受講者数 10名 3 今後の課題 - 地理的・時間的制約、学生の動機付けなどが課題である。 - 履修のあった科目は医療系分野などに限られている。 - オンデマンドやeラーニング等の活用、地域志向科目などの開講、学生への積極的な働きかけなどが必要である。

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	大学等教員のFD・SD研修の実施
実施主体	香川大学、徳島文理大学
事業目的	FD・SD研修の共同実施により、大学等の教育力などの向上を図ることを目的とする。
事業内容	<u>1 開催内容</u> ①「地方大学の新たな選択肢～これからの魅力ある地方大学とは～」（9/22 PF主催） 参加者数：27名 ②「危機管理シンポジウム」（12/4 香川大学主催,PF共催） 参加者数：189名（会場69名,オンライン120名） ③「数理・データサイエンス・AI共育強化拠点コンソーシアム 四国ブロックシンポジウム」（3/6 香川大学主催） 参加者数：92名（会場41名,オンライン51名）   

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	学生の国際交流
実施主体	香川高等専門学校
事業目的	各大学等の外国人学生間の交流の機会を設け、交流を促進することを目的とする。
事業内容	<u>1 開催日</u> 令和5年12月17日(日) <u>2 場所</u> 中野うどん学校（高松校） <u>3 参加者</u> 6名 (出身国：カンボジア、韓国、中国、日本) <u>4 開催内容</u> まぜて・こねて・踏んで・のばして・切る！ うどん打ち体験を通して、各大学の留学生が楽しく交流   

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	リスクマネジメント活動（共催）
実施主体	香川大学
事業目的	自然災害や人為災害等に対する大学等のリスクマネジメント体制を構築する
事業内容	1 開催日 令和5年12月4日 2 参加者数 189名（会場69名,オンライン120名） 3 開催内容等 危機管理シンポジウム （香川大学主催,PF香川共催） ・機構の活動状況報告 ・基調講演 講師：田中 里沙 氏 （学校法人先端教育機構事業構想大学院大学長） 演題：コミュニケーションと共創で進める 持続可能な地域づくり ・パネルディスカッション テーマ：誰にもやさしい防災がつくる明るい未来



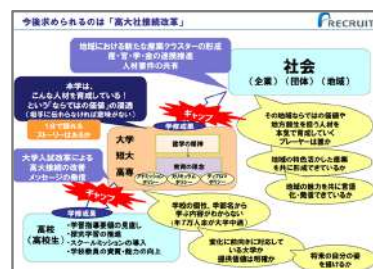
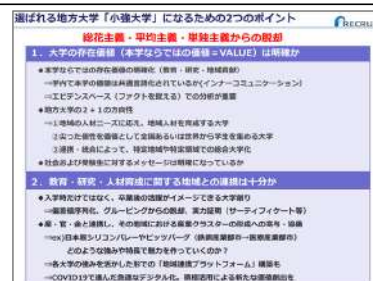
基調講演：田中里沙氏



You Tubeオンライン配信

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会
実施主体	香川短期大学
事業目的	「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」を念頭に、長期的な高等教育の展望、教育の質の保証等について議論し、大学等の地域における教育改革や教育改善を図る。
事業内容	1 開催日 令和5年9月22日(金) 2 場所 香川大学 3 参加者数 PF進学・教育部会委員8名、他19名 4 開催内容等 (1)講演 講師：小林 浩 氏（リクルート進学総研 所長） 演題：「地方大学の新たな選択肢 ～これからの魅力ある地方大学とは～」 (2)協議 ・各大学等における取組 ・今後の課題 ・講師助言 など



大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	「かがわーくフェア」の強化・充実（共催）
実施主体	高松商工会議所、香川県、（香川労働局）
事業目的	大学等新卒者及び既卒者の企業情報収集や転職希望者等の就職促進、県内企業の人材確保を支援することを目的とする。
事業内容	①主催：高松商工会議所 開催日：【対面】令和5年4月22日～23日 【オンライン】令和5年5月8日～15日 開催場所：高松商工会議所2階 大ホール 参加者：対面延べ148名、オンライン延べ27名 参加企業：約120社 開催内容：「企業説明会」及び「就職面接会」を対面・オンラインで実施 ②主催：香川労働局 開催日：令和6年3月11日 開催場所：サンメッセ香川 参加者：対面延べ142名 参加企業：135社 開催内容：「企業説明会」及び「就職面接会」を対面で実施



大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	業種別オンライン県内企業見学ツアー
実施主体	香川大学
事業目的	県内大学等の学生の県内企業に対する理解を増進させ、県内企業への就職及び県内定着を図る
事業内容	1 開催日 令和5年8月23日、31日、9月6日 2 参加学生 86名（香川大学23名、四国学院大学4名、徳島文理大学9名、 高松大学・高松短期大学6名、香川短期大学38名、香川高専6名） 3 参加企業 県内企業18社 4 開催内容 香川県内企業による動画等を用いた業種別の企業説明会を開催



大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	うどん県の自治体で働こう大懇談会（共催）
実施主体	香川大学
事業目的	県内自治体への就職及び若者定着を目標に、県内大学等の学生を対象とした地元自治体の就職を考える大懇談会を開催する
事業内容	1 開催日 令和5年9月20日 2 参加学生 19名（香川大学18名、四国学院大学1名） 3 参加自治体 県内自治体13団体 4 開催内容 県内の自治体等の担当者やOB/OGが一堂に集まる大懇談会を開催   

大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	キャリア支援研修会
実施主体	香川短期大学
事業目的	県内大学等の学生の早期の就活マインドの醸成を図る、香川県で働くことの魅力を伝える
事業内容	1 開催日 令和5年10月24日 2 開催場所 高松大学・高松短期大学大ホール 3 参加学生 13名（香川大学3名、四国学院大学2名、徳島文理大学4名、高松大学4名） 4 参加企業 株式会社レクザム 5 開催内容 (株)レクザムの人事担当者が、(株)レクザム社員の声なども紹介しつつ、県内大学等の学生に、企業目線での就職活動のポイントを解説。 

大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	学生の就職選定等の実態把握と分析																																																																																
実施主体	香川県（商工労働部労働政策課、政策部地域活力推進課）、香川大学																																																																																
事業目的	学生や県内企業を対象とするアンケート調査の実施により、今後のPF香川及び関係機関の若者の県内定着に繋がる検討に繋げる																																																																																
事業内容	1 実施内容 「採用活動の状況に関するアンケート調査」 - 対象企業：香川県に本社を置く企業1,000社 - 有効回答数：348社 - 設問内容：県内企業が求める人材、（新卒、中途採用、外国人材等）採用活動におけるPRポイント、採用活動スケジュール など - 調査報告書をPF構成員に周知するとともに、ホームページで公開 - 令和6年度は、本アンケートの結果と令和4年度に実施した学生向け「就職活動の状況等に関するアンケート調査」の結果を分析することで、学生と企業との間にあるギャップを明らかにし、PF事業の提案を行うことを目標とする。 2 アンケート内容（抜粋） ＜新規学卒者の採用活動開始時期＞ <table border="1"> <caption>＜新規学卒者の採用活動開始時期＞</caption> <thead> <tr> <th>採用活動開始時期</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年3月以前</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>令和3年4～6月</td> <td>11.0%</td> </tr> <tr> <td>令和3年7～9月</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>令和3年10～12月</td> <td>4.7%</td> </tr> <tr> <td>令和4年1～3月</td> <td>30.4%</td> </tr> <tr> <td>令和4年4～6月</td> <td>24.1%</td> </tr> <tr> <td>令和4年7～9月</td> <td>9.4%</td> </tr> <tr> <td>令和4年10月以降</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.5%</td> </tr> </tbody> </table> ＜新規学卒者の採用活動終了時期＞ <table border="1"> <caption>＜新規学卒者の採用活動終了時期＞</caption> <thead> <tr> <th>採用活動終了時期</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年3月以前</td> <td>0.5%</td> </tr> <tr> <td>令和4年4月</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>令和4年5月</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>令和4年6月</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>令和4年7月</td> <td>3.7%</td> </tr> <tr> <td>令和4年8月</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td>令和4年9月</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>令和4年10月</td> <td>9.4%</td> </tr> <tr> <td>令和4年11月</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>令和4年12月</td> <td>16.5%</td> </tr> <tr> <td>令和5年1月以降</td> <td>35.6%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1.6%</td> </tr> </tbody> </table> ＜採用活動における情報発信方法＞ <table border="1"> <caption>＜採用活動における情報発信方法＞</caption> <thead> <tr> <th>情報発信方法</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学就職サイト</td> <td>61.0%</td> </tr> <tr> <td>会社ホームページ</td> <td>39.7%</td> </tr> <tr> <td>公開求職サイト（ポータル）</td> <td>16.4%</td> </tr> <tr> <td>インターンシップ</td> <td>21.4%</td> </tr> <tr> <td>官公庁の就職サイト（ポータル）</td> <td>33.9%</td> </tr> <tr> <td>職業相談センター（キャリアセンター）</td> <td>11.2%</td> </tr> <tr> <td>Web（求人検索エンジン等）</td> <td>10.2%</td> </tr> <tr> <td>求人雑誌</td> <td>3.7%</td> </tr> <tr> <td>市内キャリアセンター</td> <td>20.3%</td> </tr> <tr> <td>市内のセミナー</td> <td>0.5%</td> </tr> <tr> <td>求人の掲載サービス</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>キャリア開発団体の学生運営部（キャリアアドバイザー）</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>ハローワーク</td> <td>14.2%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.0%</td> </tr> </tbody> </table>	採用活動開始時期	割合	令和3年3月以前	5.8%	令和3年4～6月	11.0%	令和3年7～9月	5.2%	令和3年10～12月	4.7%	令和4年1～3月	30.4%	令和4年4～6月	24.1%	令和4年7～9月	9.4%	令和4年10月以降	6.8%	その他	2.1%	無回答	0.5%	採用活動終了時期	割合	令和4年3月以前	0.5%	令和4年4月	1.6%	令和4年5月	3.1%	令和4年6月	6.8%	令和4年7月	3.7%	令和4年8月	5.7%	令和4年9月	11.5%	令和4年10月	9.4%	令和4年11月	5.1%	令和4年12月	16.5%	令和5年1月以降	35.6%	その他	4.2%	無回答	1.6%	情報発信方法	割合	大学就職サイト	61.0%	会社ホームページ	39.7%	公開求職サイト（ポータル）	16.4%	インターンシップ	21.4%	官公庁の就職サイト（ポータル）	33.9%	職業相談センター（キャリアセンター）	11.2%	Web（求人検索エンジン等）	10.2%	求人雑誌	3.7%	市内キャリアセンター	20.3%	市内のセミナー	0.5%	求人の掲載サービス	0.0%	キャリア開発団体の学生運営部（キャリアアドバイザー）	3.1%	ハローワーク	14.2%	その他	1.0%
採用活動開始時期	割合																																																																																
令和3年3月以前	5.8%																																																																																
令和3年4～6月	11.0%																																																																																
令和3年7～9月	5.2%																																																																																
令和3年10～12月	4.7%																																																																																
令和4年1～3月	30.4%																																																																																
令和4年4～6月	24.1%																																																																																
令和4年7～9月	9.4%																																																																																
令和4年10月以降	6.8%																																																																																
その他	2.1%																																																																																
無回答	0.5%																																																																																
採用活動終了時期	割合																																																																																
令和4年3月以前	0.5%																																																																																
令和4年4月	1.6%																																																																																
令和4年5月	3.1%																																																																																
令和4年6月	6.8%																																																																																
令和4年7月	3.7%																																																																																
令和4年8月	5.7%																																																																																
令和4年9月	11.5%																																																																																
令和4年10月	9.4%																																																																																
令和4年11月	5.1%																																																																																
令和4年12月	16.5%																																																																																
令和5年1月以降	35.6%																																																																																
その他	4.2%																																																																																
無回答	1.6%																																																																																
情報発信方法	割合																																																																																
大学就職サイト	61.0%																																																																																
会社ホームページ	39.7%																																																																																
公開求職サイト（ポータル）	16.4%																																																																																
インターンシップ	21.4%																																																																																
官公庁の就職サイト（ポータル）	33.9%																																																																																
職業相談センター（キャリアセンター）	11.2%																																																																																
Web（求人検索エンジン等）	10.2%																																																																																
求人雑誌	3.7%																																																																																
市内キャリアセンター	20.3%																																																																																
市内のセミナー	0.5%																																																																																
求人の掲載サービス	0.0%																																																																																
キャリア開発団体の学生運営部（キャリアアドバイザー）	3.1%																																																																																
ハローワーク	14.2%																																																																																
その他	1.0%																																																																																

大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	学生による企業インタビューシップの実施
実施主体	①高松大学 蓮井教授、香川県中小企業家同友会 ②香川県教育委員会、香川県中小企業家同友会
事業目的	県内高校生及び大学生の企業インタビューシップによる、県内高校や大学におけるキャリア教育の拡大や実証
事業内容	① インタビューシップ 大学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューする「インタビューシップ」を実施。地元で働く意味を考え、自身のキャリア観を見直すきっかけとなった - 開催日：令和5年12月20日 - 参加者：高松大学生（「キャリア開発演習Ⅱ」受講生9名） - 参加企業：県内企業7社 ② 共育型インターンシップ 「地域で若者を育て地域に若者が戻る（残る）、地域に若者が希望をもって帰ってくる活動」として高校生を対象にした「共育型インターンシップ」を実施 - 開催時期：夏季休暇期間中（※志度高校は10月実施） - 参加者：県内4校 延べ225名 （三木高校、高松商業高校、飯山高校、志度高校） - 参加企業：県内企業170社



大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信
実施主体	香川県漁業協同組合連合会、香川県農業協同組合中央会
事業目的	高校、大学等のイベントに農業や漁業の県産品等を出展し、それらの生産販売に係る企業・団体の情報及び魅力発信を行う
事業内容	1 開催日 令和5年10月28日 2 開催場所 香川大学（香川大学祭） 3 来場者数 464名（大学生270名、その他194名） 4 開催内容等 香川大学祭に県産農畜水産物に関するブースを設置し、その生産に関わる団体の魅力発信を行った。 5 来場者アンケート 協力したいが何をしてもよく分からない 協力できることはない ■ 回答数

大学・地域共創プラットフォーム香川 地域活性化部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	学生による観光資源の情報発信等
実施主体	香川県
事業目的	若者目線による県の魅力発信、参加学生の地域理解促進等による人材育成
事業内容	1 実施内容・効果 - 県内の観光資源を題材に、学生や地域おこし協力隊が主体となり、体験取材や記事作成を若者目線で実施し、県公式Instagramから情報発信 - 他の投稿を超える表示回数（リーチ数）を記録する投稿が多く、地域の魅力を知る機会を創出。また、参加学生が、県内での就職や自治体職員を志望するきっかけになった。 2 投稿内容
	大学生との連携 投稿日：9/7  3/15時点リーチ数： 15,350 10/25  26,489 10/26  18,692 地域おこし協力隊との連携 2/27  8,019 2/28  12,472 2/29  14,526 3/1  13,038

大学・地域共創プラットフォーム香川 地域活性化部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	アンケート調査の詳細分析等と対策検討				
実施主体	香川県				
事業目的	若者の県内定着促進のため、就職先選定における学生の思考・行動や、就職時の若者の転出超過の要因について把握・検討し、今後の取組みにつなげていく				
事業内容	1 実施内容 - 県内外の就職活動を終えた学生へのアンケート調査（R4年度実施）を基に、定性的な分析のため、大学生・企業社員へのインタビュー調査を実施 - ワーキンググループを中心に、両調査の結果から得られるポイントや今後の方向性について議論、検討 2 調査結果のまとめ <table border="1"> <thead> <tr> <th>アンケート調査結果のまとめ</th> <th>インタビュー調査結果のまとめ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> - 大学進学で県外に出た学生は、半数以上が就職で県内に戻らず、大学進学で県内に来た学生は、大半が就職で県外に出ていた。 - 地企・高専生が、就職活動開始時と就職決定時期のとらえにおいて異なる傾向があり、特に県内企業等に就いた学生で顕著である。地域情報不足、会社探し・就業先に悩む学生が多いため、その傾向が強い。また、卒業後、地元就職希望者に対して、地元企業紹介協会の活用を促すべきと考えている。 - 県外就職を決めた理由として、希望する職種や職場の企業がないことに加え、地元就職時に苦戦したこととして、希望する職種や職種の企業が少なかったことや求人も少ない状況であった。差別化では、情報収集、サービス系、部活などで他の強みを持ち、採用者は、就職後の海外移住が多いなどの理由が、県内に留まると考えた企業や求人が少ないと考えられている。 - 男性はより給与や企業の安定性、将来性など、仕事の条件やステータスなどを重視する傾向があり、女性はそのほかにも、働きやすさや生活環境などの価値観、ワークライフバランスなど、仕事・生活の両面に重きを置く傾向がある。 - 女性のほうが県内企業への就職を検討した割合が高く、実際に県内企業への就職をした割合も高い。 - 就職先決定時に参考にした人の中で、両親が最も多い。 - 県内出身者は、大学や就職で県外に出ても、香川県への愛着を感じている。 </td><td> - 地企と高専生では、進路選択を支援する傾向にあり、特に高専就職、進学先必須と考える学生が多い。 - 給与では、約半数の2万円超という難関を持っている学生が多い。 - 労働時間など、勤務先についてはワークライフバランスが重要であるとされている。 - 公務員就職は、給与の高さを挙げている。 - 希望する職種や職場を決めてから、企業を探す手段が多数あり、希望する職種や職場の即応性を求めている学生が多い。 - 県内の情報伝達量は、掲載が多くて、情報が寄せられることで就職先の確保から外れる。 - 県内企業でバイト・リクナビを通じて情報収集しており、雇用の難しさの認識が高い。 「女性向けに立つ企業であることに共感」（形成、子育てしやすい職場に感じている）といった価値観を重視する学生が少なくない。 - 職種の必要度は、男女別で、経済的安定志向・雇用するポイントとなっている。 - ケーススタディが、就職時の判断によって、業績や勤続年数が学生本人の希望から変わる可能性がある。 - 県外出身者が大学在学中に着目よく知る情報に基づき、動きを持っていないまま県外へ帰っていくケースもある。 </td></tr> </tbody> </table> 3 ワーキンググループでの議論 - 小中高生など、より若いころから県内企業等との関わりを持つ機会の創出が重要なのではないかと。 - 中途採用や外国人材等の様々な人材の活用にも視野を広げるべきではないかと。	アンケート調査結果のまとめ	インタビュー調査結果のまとめ	- 大学進学で県外に出た学生は、半数以上が就職で県内に戻らず、大学進学で県内に来た学生は、大半が就職で県外に出ていた。 - 地企・高専生が、就職活動開始時と就職決定時期のとらえにおいて異なる傾向があり、特に県内企業等に就いた学生で顕著である。地域情報不足、会社探し・就業先に悩む学生が多いため、その傾向が強い。また、卒業後、地元就職希望者に対して、地元企業紹介協会の活用を促すべきと考えている。 - 県外就職を決めた理由として、希望する職種や職場の企業がないことに加え、地元就職時に苦戦したこととして、希望する職種や職種の企業が少なかったことや求人も少ない状況であった。差別化では、情報収集、サービス系、部活などで他の強みを持ち、採用者は、就職後の海外移住が多いなどの理由が、県内に留まると考えた企業や求人が少ないと考えられている。 - 男性はより給与や企業の安定性、将来性など、仕事の条件やステータスなどを重視する傾向があり、女性はそのほかにも、働きやすさや生活環境などの価値観、ワークライフバランスなど、仕事・生活の両面に重きを置く傾向がある。 - 女性のほうが県内企業への就職を検討した割合が高く、実際に県内企業への就職をした割合も高い。 - 就職先決定時に参考にした人の中で、両親が最も多い。 - 県内出身者は、大学や就職で県外に出ても、香川県への愛着を感じている。	- 地企と高専生では、進路選択を支援する傾向にあり、特に高専就職、進学先必須と考える学生が多い。 - 給与では、約半数の2万円超という難関を持っている学生が多い。 - 労働時間など、勤務先についてはワークライフバランスが重要であるとされている。 - 公務員就職は、給与の高さを挙げている。 - 希望する職種や職場を決めてから、企業を探す手段が多数あり、希望する職種や職場の即応性を求めている学生が多い。 - 県内の情報伝達量は、掲載が多くて、情報が寄せられることで就職先の確保から外れる。 - 県内企業でバイト・リクナビを通じて情報収集しており、雇用の難しさの認識が高い。 「女性向けに立つ企業であることに共感」（形成、子育てしやすい職場に感じている）といった価値観を重視する学生が少なくない。 - 職種の必要度は、男女別で、経済的安定志向・雇用するポイントとなっている。 - ケーススタディが、就職時の判断によって、業績や勤続年数が学生本人の希望から変わる可能性がある。 - 県外出身者が大学在学中に着目よく知る情報に基づき、動きを持っていないまま県外へ帰っていくケースもある。
アンケート調査結果のまとめ	インタビュー調査結果のまとめ				
- 大学進学で県外に出た学生は、半数以上が就職で県内に戻らず、大学進学で県内に来た学生は、大半が就職で県外に出ていた。 - 地企・高専生が、就職活動開始時と就職決定時期のとらえにおいて異なる傾向があり、特に県内企業等に就いた学生で顕著である。地域情報不足、会社探し・就業先に悩む学生が多いため、その傾向が強い。また、卒業後、地元就職希望者に対して、地元企業紹介協会の活用を促すべきと考えている。 - 県外就職を決めた理由として、希望する職種や職場の企業がないことに加え、地元就職時に苦戦したこととして、希望する職種や職種の企業が少なかったことや求人も少ない状況であった。差別化では、情報収集、サービス系、部活などで他の強みを持ち、採用者は、就職後の海外移住が多いなどの理由が、県内に留まると考えた企業や求人が少ないと考えられている。 - 男性はより給与や企業の安定性、将来性など、仕事の条件やステータスなどを重視する傾向があり、女性はそのほかにも、働きやすさや生活環境などの価値観、ワークライフバランスなど、仕事・生活の両面に重きを置く傾向がある。 - 女性のほうが県内企業への就職を検討した割合が高く、実際に県内企業への就職をした割合も高い。 - 就職先決定時に参考にした人の中で、両親が最も多い。 - 県内出身者は、大学や就職で県外に出ても、香川県への愛着を感じている。	- 地企と高専生では、進路選択を支援する傾向にあり、特に高専就職、進学先必須と考える学生が多い。 - 給与では、約半数の2万円超という難関を持っている学生が多い。 - 労働時間など、勤務先についてはワークライフバランスが重要であるとされている。 - 公務員就職は、給与の高さを挙げている。 - 希望する職種や職場を決めてから、企業を探す手段が多数あり、希望する職種や職場の即応性を求めている学生が多い。 - 県内の情報伝達量は、掲載が多くて、情報が寄せられることで就職先の確保から外れる。 - 県内企業でバイト・リクナビを通じて情報収集しており、雇用の難しさの認識が高い。 「女性向けに立つ企業であることに共感」（形成、子育てしやすい職場に感じている）といった価値観を重視する学生が少なくない。 - 職種の必要度は、男女別で、経済的安定志向・雇用するポイントとなっている。 - ケーススタディが、就職時の判断によって、業績や勤続年数が学生本人の希望から変わる可能性がある。 - 県外出身者が大学在学中に着目よく知る情報に基づき、動きを持っていないまま県外へ帰っていくケースもある。				

大学・地域共創プラットフォーム香川 地域活性化部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	関係案内所等の先進事例勉強会の開催等
実施主体	香川県
事業目的	県内の先進事例から地域活性化のポイント等を学び、他地域への活用を検討
事業内容	<u>1 実施内容</u> ・講師：瀬戸内ワークス(株) 原田 佳南子 代表 ・テーマ：ローカルスタートアップや地域における人材育成の取組み ・参加者：39名（大学等教職員、学生、自治体職員、地域おこし協力隊、地域づくり団体など） ・開催場所：三豊市 <u>2 スタートアップを生むポイント</u> ・欲しい未来を共有する ・チャレンジする仲間を増やす ・なぜやるかを10回問い続ける ・できないことはできる人とやる ・取るリスクを明確にする ・無責任な仕事をする

大学・地域共創プラットフォーム香川 地域活性化部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	
実施主体	香川県	
事業目的	県内の産学官関係者がつながり、相互理解を深め、連携事業創出の基盤をつくる	
事業内容	<u>1 実施内容</u> 産学官連携交流会 （大学・自治体によるプレゼンテーション＋懇親会） <u>2 参加者</u> 97名（大学等教職員、学生、経済団体職員、民間企業職員、自治体職員など） <u>3 参加者アンケート</u> ・交流会の満足度 「大変良かった」「良かった」と90％超が回答 ・次回以降に希望するテーマ 防災、DX、Uターン転職、起業、農業・漁業など	 

大学・地域共創プラットフォーム香川
産学官共創チャレンジ支援補助金 交付決定事業一覧

	事業名	事業実施主体
1	高大連携キャリアデザイン研修	高松大学
2	香川わくわく子ども大学	徳島文理大学
3	薬剤師・薬学部に係る職業理解・進学促進	徳島文理大学
4	メタバースを利用した オンライン県内企業等見学ツアー	香川大学
5	地域中小企業の DX を推進する DX 人材育成教育プログラムの設計開発とその実践	香川大学
6	外国人材活用セミナー & 交流会	高松商工会議所
7	若手経営者と巡る 「キラリと輝く地元中小企業の魅力発見ツアー」	香川県中小企業団体中央会
8	アオ活! In 高松東高/香川短期大学/高松大学・高松短期 大学	香川県中小企業家同友会
9	防犯アプリを活用した 陸と空からの防犯パトロールの推進	香川大学
10	県内産業の魅力認識と若者の地元定着意識 PLUS 事業	香川短期大学

高松大学

参画：高松大学、香川県立保健医療大学、香川大学、四国学院大学、徳島文理大学（香川キャンパス）、香川短期大学、高松短期大学、せとうち観光専門職短期大学、学校法人高宮学園代々木ゼミナール、高松商工会議所（株式会社ビットコミュニケーションズ、株式会社中央印刷）、香川県、高松市

高大連携キャリアデザイン研修

- 事業概要：（目的）高等学校の保護者に対し情報提供を行うことで県内大学等への進学率向上に繋げる
（日時）令和5年10月1日（日）及び同年12月9日（土）
（場所）各高等学校及びかがわ国際会議場
（内容）香川県高等学校PTA連合会と連携し機関誌において大学等の情報を発信するとともに、専門家や大学等が会場において進路選択に係る講演やプレゼンを行う
- 成果・評価：機関誌の特設ページや、専門家によるキャリアガイダンス及び大学等によるプレゼンでの学部・学科のアピールポイントなどが具体的な学びに繋がり、大変有意義であったなどの評価があった
- 今後の課題：より有為な情報を保護者が受け取れるよう、実施方法、説明内容、時間配分等の検討
- 交付決定額：334,000円



当取組みの問い合わせ先：高松大学
香川県高松市春日町960番地
(TEL) 087-841-5920 (URL) <https://www.takamatsu-u.ac.jp/>

徳島文理大学

参画：高松大学、香川短期大学、さぬき市商工会（大塩水産(株)、(株)木村海産）、香川県、高松市、さぬき市

香川わくわく子ども大学

- 事業概要：（目的）小学生の学習支援
（日時）令和5年7月22日（土）～11月25日（土） 延べ8日間 13講座
（場所）徳島文理大学、高松大学、香川短期大学、法然寺（高松市）
（内容）小学生を対象に、大学等の教員が講師を務める講座を開講
参加者数：小学生286名（親子232組） 応募数：762組
- 成果・評価：学びの場を提供できたことで、学びに向かう力を育成し、課題発見能力や問題解決能力を高められた。講座への満足度は非常に高かった。（アンケート結果より）
- 今後の課題：ニーズに対応できるよう、講座数を増やし講座内容を充実
- 交付決定額：413,000円



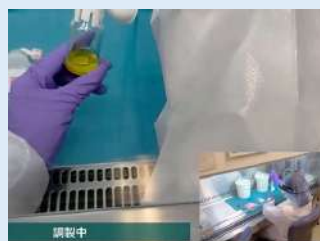
当取組みの問い合わせ先：徳島文理大学 香川キャンパス 地域連携センター
香川県さぬき市志度1314-1
(TEL) 087-899-7116 (URL) <https://www.bunri-u.ac.jp/>

徳島文理大学

参画：香川県、西日本放送サービス株式会社、NTTコミュニケーションズ株式会社

薬剤師・薬学部に係る職業理解・進学促進

- 事業概要：(目的)薬剤師の魅力を伝え、薬剤師への興味喚起および薬学部への進学促進
(日時)令和5年10月～12月で全6日
(場所)県内高校5校で実施
(内容)360°動画とVRゴーグルによるバーチャル施設見学（参加74名）
薬剤師と高校生のオンラインミーティング（参加10名）
- 成果・評価：参加者全員が大変満足、満足とアンケートで回答。薬剤師の雰囲気や業務が理解できたと多くが回答し、将来、薬剤師として働きたいとの回答もあった。
- 今後の課題：より効果的な内容への改良拡充、参加者増のため実施高校数・時期や時間を検討
- 交付決定額：1,490,000円



当取組みの問い合わせ先：徳島文理大学 香川薬学部 小林隆信
香川県さぬき市志度1314-1
(TEL) 087-899-7462 (URL) <https://www.bunri-u.ac.jp/faculty/kg-pharmacy/>

香川大学

参画：高松商工会議所、香川経済同友会、香川県、高松市

メタバースを利用したオンライン県内企業等見学ツアー

- 事業概要：(目的)県内大学等の学部1、2年生をはじめとする全学年を対象に、県内企業等への理解及び将来のキャリア意識の向上を図る
(日時)令和5年8月29日（火）【自由見学期間】令和5年8月30日（水）～9月5日（火）
(場所)Web（香川大学全学共通科目受講者は、学内講義室）
(内容)メタバースを利用して企業等見学ツアーを実施。県内学生50名が参加。
参加企業等は17団体で、最大6つのブースを訪問。
- 成果・評価：参加前後の学生アンケートを比較した結果、企業や業界に対する視野が広がり、自身の興味関心や仕事に対する意識が向上し、低学年生の今後の学生生活の目標達成への意識向上につながっていた
- 今後の課題：参加学生の確保、参加学生と参加企業等の参加目的のずれの解消など
- 交付決定額：912,000円



当取組みの問い合わせ先：国立大学法人香川大学 キャリア支援センター
香川県高松市幸町1-1
(TEL) 087-832-1168 (URL) <https://www.kagawa-u.ac.jp/career/>

香川大学

参画：株式会社リコージャパン、日本マイクロソフト株式会社、
かがわ県民情報サービス株式会社、高松商工会議所

地域中小企業のDXを推進するDX人材育成教育プログラムの設計開発とその実践

- 事業概要：（目的）香川県内の中小企業のDX推進にむけた人材育成
（日時）令和5年12月6日（水）、令和6年1月26日（金）
（場所）香川大学、情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ
（内容）ノーコード・ローコードシステムの開発スキルの習得
- 成果・評価：KadaiDX塾を2回開催し、約44名が受講し、プログラムを修了した。またDXに関する取り組みをまとめた電子教科書「業務システム 内製開発 入門編」を発行した。
- 今後の課題：デザイン思考に基づく、DX推進スキルの中小企業への普及が今後の課題
- 交付決定額：3,960,000円



当取組みの問い合わせ先：香川大学 情報部 情報企画課 武田

（TEL）087-832-1024 （URL）<https://dx-labo.kagawa-u.ac.jp/>

高松商工会議所

参画：香川大学、学校法人穴吹学園、香川県

外国人材活用セミナー&交流会

- 事業概要
（目的）外国人留学生等が本県の魅力に触れ、活躍できるよう、セミナーや企業との交流会を通じて県内就職支援等を行う。
（日時）令和5年10月27日（金）
（場所）高松商工会議所会館 2階 大ホール
（内容）県内中小企業の経営者、人事担当者を対象に人手不足対策として、外国人材を知ってもらう機会を創出するため、セミナー及び企業と県内就職を希望する留学生との交流会を開催。外国人材の採用を検討している企業24社28名、及び就職を希望する留学生19名が参加した。
- 成果・評価
アンケート結果では企業からは外国人材を活用するための具体的なイメージを掴むことができた。参加者（外国人材）からは企業の本音が聞けたとの意見が多く、参加企業・参加者（外国人材）ともに満足度が高かった。
- 今後の課題
外国人材に向けて香川県で働くことに対して興味関心をひくPR。
県内企業における外国人材に対する理解の促進。
- 交付決定額：1,000,000円



当取組みの問い合わせ先

高松商工会議所 事業推進部 産業・人材課 小田（TEL）087-825-3518（URL）<https://www.takacci.or.jp/>

香川県中小企業団体中央会

参画：高松大学、香川県

若手経営者と巡る「キラリと輝く地元中小企業の魅力発見ツアー」

- 事業概要：（目的）県内高校生が地元企業で働くことを考えるきっかけとする
（日時）令和5年7月21日（金）
（場所）県内企業（泉鋼業様、アムロンテクノ香川様、川西水道機器様）
（内容）県内高校生（18名）がバスで県内企業を訪問し、
会社・工場の見学・体験やランチミーティング等を行う
- 成果・評価：参加者全員が「香川の中小企業の魅力について伝わった」とアンケートで回答
「県内にすごい企業があるのを知れた」や「入りたいと思った」等の意見あり
- 今後の課題：より多くの高校生が参加できるよう、開催時期や参加申込方法などの検討
- 交付決定額：375,000円



当取組みの問い合わせ先：香川県中小企業団体中央会 事業振興部
香川県高松市福岡町2丁目2番2-401号（香川県産業会館内）
（TEL）087-851-8311（URL）<http://www.chuokai-kagawa.or.jp/>

一般社団法人香川県中小企業家同友会

参画：高松東高校、香川短期大学、高松大学、香川県

アオ活！ in 高松東高/香川短期大学/高松大学・高松短期大学

- 事業概要：（目的）中小企業の魅力向上と中小企業の魅力や仕事の発信
「地域に若者を残す、地域に若者が希望を持って帰ってくる」環境を作っていくための
企業づくり（中小企業の成長）と地域づくり（若者が働くことを考えるキャリア教育の機会）
- （場所・日時）高松東高：令和5年9月8日（金）10～15時
香川短期大学：令和5年10月21日（土）10時半～16時・22日（日）10時半～15時
高松大学・高松短期大学：令和5年11月11日（土）10時～16時・12日（日）10時～15時半
- （内容）文化祭・大学祭の場を活用し、県内中小企業が、高校生・大学生等を対象とする企業・事業の紹介をブース説明やワークショップで行った。（※延べ参加数：約537名）
- 成果・評価：アンケート結果を見る限り、地域の大学生や高校生に地元企業の魅力に触れてもらう機会が創出できた。
- 今後の課題：若者の業界研究・職業観の学習の場、「働くこと」を考えるキャリア教育の場として実施したが、ここに対してどこまでコミット出来たかが課題。若者が入社したくなる企業づくりに繋がったのか検証ができていないことが課題。

○交付決定額：3,100,000円



アオ活！アンケート結果



高松東高参加者：約170名



香短参加者：約176名



高松大参加者：約191名

当取組みの問い合わせ先：一般社団法人香川県中小企業家同友会 事務局
香川県高松市林町217-15香川産業頭脳化センタービル4F
（TEL）087-869-3770（URL）<https://www.kagawa-doyukai.com/>

香川大学

参画：香川県防犯協会連合会、香川県、エーワンセキュリティサービス

防犯アプリを活用した陸と空からの防犯パトロールの推進

- 事業概要：（目的）県内での防犯アプリを活用した陸と空からの防犯パトロールの実施
（日時）令和5年9月～1月
（場所）県内（県内小学校、県内のボランティア団体などで多数実施）
（内容）県内小学校で防犯アプリを活用した防犯パトロールを実施し、県内の防犯ボランティア団体で防犯アプリを活用した防犯パトロールを実施した。
- 成果・評価：活動前後のアンケート調査により、調査の結果、参加者の防犯意識と防犯に関する能力が向上し、活動に対しても肯定的な評価が得られた。
- 今後の課題：より多くの市民が防犯パトロールに参加できるような広報の仕方検討
- 交付決定額：1,820,000円



当取組みの問い合わせ先：香川大学教育学部 大久保智生
香川県高松市幸町1-1
(TEL) 087-832-1530 (e-mail) okubo.tomoo@kagawa-u.ac.jp

香川短期大学

参画：高松短期大学、せとうち観光専門職短期大学、三豊市地域戦略課、(株)Drawworth、東邦レオ(株)、(同)DouxFlamme、
琴平バス(株)、(株)志々島ダイナミクス、BRアーティ(株)、森さくら、Café トキ

県内産業の魅力認識と若者の地元定着意識PLUS事業

- 事業概要：（目的）特色と魅力ある産業と、地元学生が地元での就職や起業が可能である事を認識し、さらには広報活動を通して高校生へその魅力を伝える事を目的とする。
（日時）2023年7月12日（水）～2024年1月31日（水）
（場所）主な活動場所：高松市・三豊市・宇多津町
（内容）①県内事業者等による講義、②西讃地域と食に関わる事業視察、③短大連携ライブによる学外交流、④学生らによるバスコンテストの実施、以上4つのプロジェクトを実施した。
・実施後に都度アンケートをとり効果測定とした。魅力ある産業がある事や新規起業が身近であることを体験を通して実感してもらえた。また、学生の主体性が出てきていることは成果である。
- 成果・評価：
- 今後の課題：・継続的な活動とする為に、連携して科目とすることも踏まえ構想を練る必要がある。
また情報発信力に関する課題も残る。
- 交付決定額：1,568,000円



当取組みの問い合わせ先：香川短期大学 経営情報科 岩倉（情報処理第2）研究室
(TEL) 0877-49-5593 (URL) <https://sites.google.com/kjc.ac.jp/challengeofsanukicolleges/>

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和5年度収支決算書（案）

（単位：円）

項目	予算額	決算	比較増減	内容
【収入の部】				
前年度繰越額	1,400,000	1,239,795	▲ 160,205	
会費(35機関)	8,100,000	8,100,000	0	(内訳) 県内大学等(7) 3,150,000 経済団体等(8) 800,000 市町(17) 850,000 香川県 3,300,000 ※高松大学及び高松短期大学は一法人として負担 ※香川県立保健医療大学は香川県負担分に含む
県補助金	30,000,000	11,247,000	▲ 18,753,000	産学官共創チャレンジ支援補助金
預金利息	0	51	51	
収 入 計	39,500,000	20,586,846	▲ 18,913,154	

項目	予算額	決算	比較増減	内容
【支出の部】				
事業費	9,500,000	8,308,507	▲ 1,191,493	4,014,924 (デジタルキャンパスガイド作成、企業向けアンケート調査、産学官連携交流会開催費他)
事務費				4,293,583 (人件費、ホームページ更新費、通信費他)
事業費(県補助対象)	30,000,000	11,247,000	▲ 18,753,000	産学官共創チャレンジ支援補助金(10事業)
次年度繰越	0	1,031,339	1,031,339	県補助金、事業費(県補助対象)を除く
支 出 計	39,500,000	20,586,846	▲ 18,913,154	

監 査 報 告 書

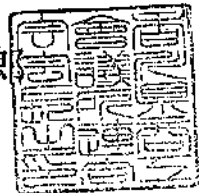
大学・地域共創プラットフォーム香川の令和5年度における会計について、帳簿及び関係書類により監査を行ったところ、その執行は正確に処理されているものと認めますので、報告します。

令和6年7月24日

大学・地域共創プラットフォーム香川

監事 香川県商工会議所連合会

会長 綾田 裕次郎



監 査 報 告 書

大学・地域共創プラットフォーム香川の令和5年度における会計について、帳簿及び関係書類により監査を行ったところ、その執行は正確に処理されているものと認めますので、報告します。

令和6年7月22日

大学・地域共創プラットフォーム香川

監事 高松市

市長 大西 秀人



大学・地域共創プラットフォーム香川

中長期計画（2024年度～2028年度）
～高等教育機関を基点とした地域の活性化～

（案）

2024年 月 日 策定

大学・地域共創プラットフォーム香川 中長期計画 目次

1	大学・地域共創プラットフォーム香川の概要	・ ・ 1
2	中長期計画について	
	(1) 計画の目的	・ ・ 3
	(2) 活性化対象地域	・ ・ 3
	(3) 計画の期間	・ ・ 3
	(4) 現状と課題	・ ・ 3
	(5) ビジョン・基本目標及び数値目標	・ ・ 9
	(6) 評価体制・評価時期・評価の反映方法	・ ・ 9
	(7) ロードマップ	・ ・ 10

※2024年度ロードマップは別紙参照

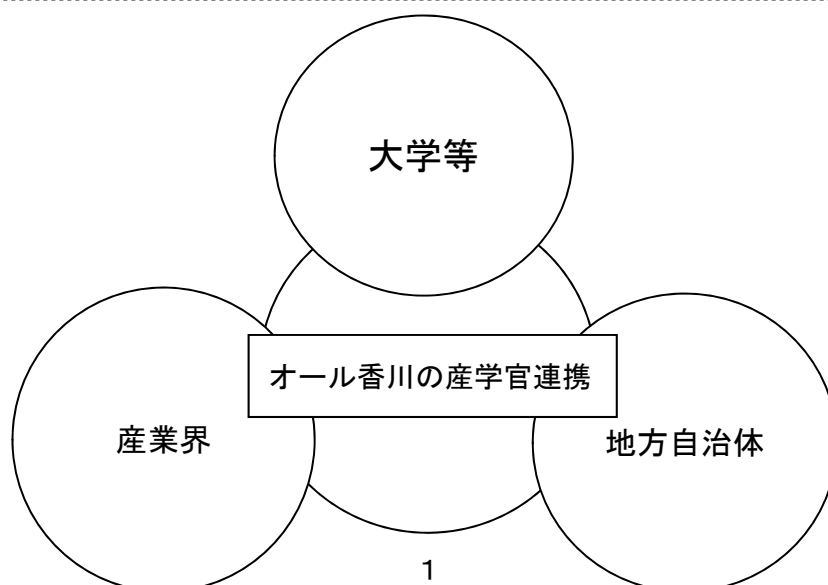
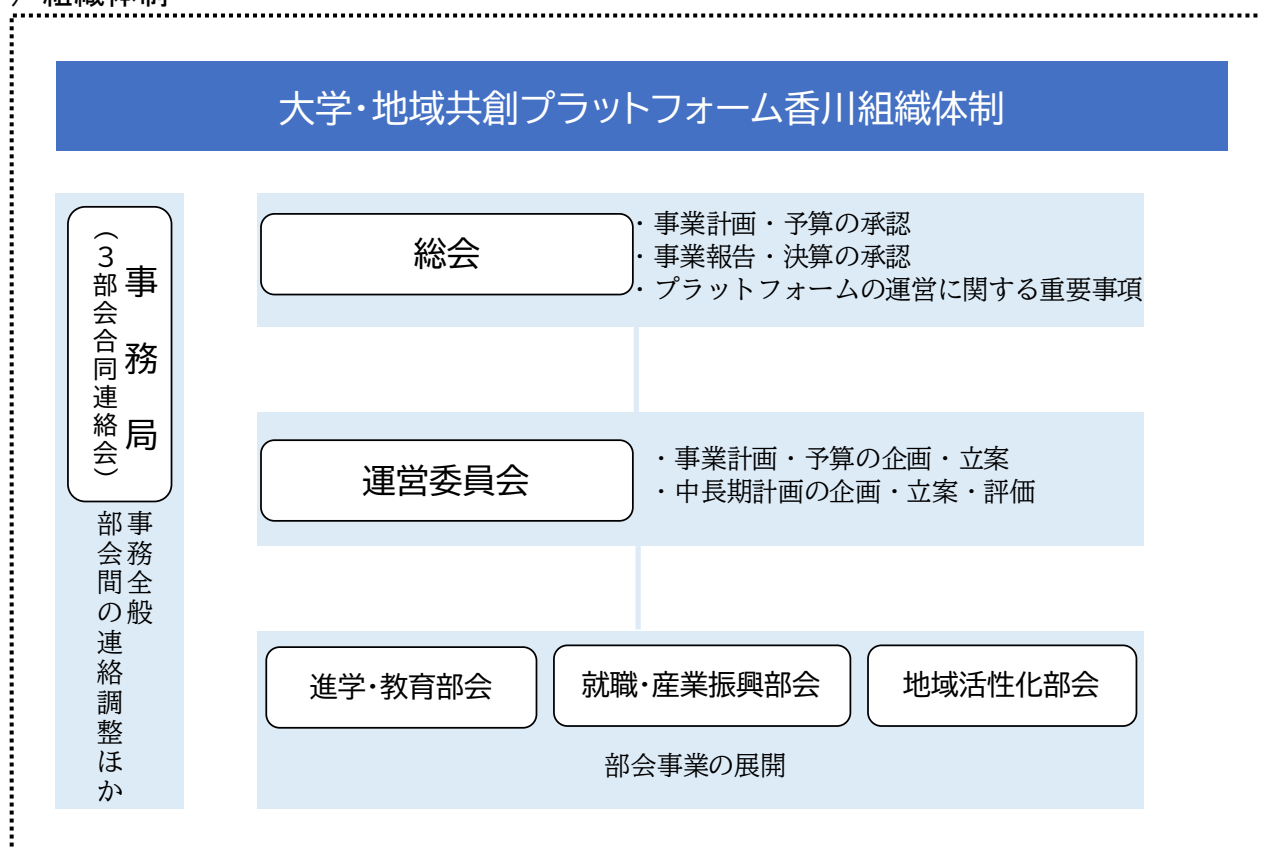
【参考】

「県内大学等の学術分野マップ」	・ ・ 14
「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画（令和3(2021)年度～令和7(2025)年度）」（抜粋）	・ ・ 15

1 大学・地域共創プラットフォーム香川の概要

- 「大学・地域共創プラットフォーム香川」（以下、「本プラットフォーム」という。）は、前身組織である「大学コンソーシアム香川（2015年9月～2022年3月）」及び「COC+-NEXTかがわ（2021年4月～2022年3月）」での県内進学及び地域定着に係る事業の実績を踏まえ、これを承継・強化するとともに、産業界、地方自治体を加えた産学官のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的として、令和4年（2022年）3月に設立された。
- 組織運営体制として、総会の下に運営委員会を置き、進学・教育部会、就職・産業振興部会、地域活性化部会の3つの部会を設け、事業を推進している。事務局は、総会及び運営委員会の事務の他、プラットフォーム全般の事務を処理する。また、事務局内に設置する3部会合同連絡会が、事業実施に関する部会間の連絡調整等を担っている。

（1）組織体制



(2) 構成機関

大学等（9機関）
香川大学
香川県立保健医療大学
四国学院大学
徳島文理大学
高松大学
香川短期大学
高松短期大学
せとうち観光専門職短期大学
香川高等専門学校

産業界（8機関）
香川県商工会議所連合会
香川県商工会連合会
香川県中小企業団体中央会
香川経済同友会
香川県中小企業家同友会
香川県農業協同組合中央会
香川県漁業協同組合連合会
香川県銀行協会

地方自治体（18機関）
香川県
高松市
丸亀市
坂出市
善通寺市
観音寺市
さぬき市
東かがわ市
三豊市
土庄町
小豆島町
三木町
直島町
宇多津町
綾川町
琴平町
多度津町
まんのう町

2 中長期計画について

(1) 計画の目的

- 本計画は、高等教育機関の現状や課題を踏まえ、「香川県的高等教育及び地域の活性化」に資するために、本プラットフォームがどのような役割を果たすべきか、その進むべき方向性を確認するために策定するものであり、今後5年間の活動の指針となるものである。

(2) 活性化対象地域

- 本計画の活性化対象地域は、本プラットフォームが活性化の対象として設定している地域（香川県）とする。

(3) 計画の期間

- 令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間とする。

(4) 現状と課題

- 本県の人口は、平成11(1999)年の約103万人をピークに減少に転じ、令和5(2023)年の人口は約93万人と、平成12(2000)年以来24年連続で減少している。また、人口に占める生産年齢人口の割合、18歳人口も減少傾向にあり、地域社会・地域経済を支える人材不足が予測される。【図表1、2、3】

- 本プラットフォームにおいて実施した、「県内企業の採用活動に関する実態調査（令和6年3月）」では、県内企業の平均人材充足率は62%となっており、すでに県内における人材不足が深刻化していることが分かる。

- 大学進学者の多くが県外へ進学している。県内高校出身者で令和5年4月に大学に進学した者のうち、県内大学へ進学した者の割合は17.4%、短大へ進学した者のうち、県内短大へ進学した者の割合は67.3%である。【図表4】

- 県内出身者が県内大学・短大・高等専門学校に進学すれば、約8割が県内に就職していることから、県内の地域社会・地域経済を支える人材を確保するためには、県内就職率を増加させるとともに、県内進学率の向上を目指す必要がある。

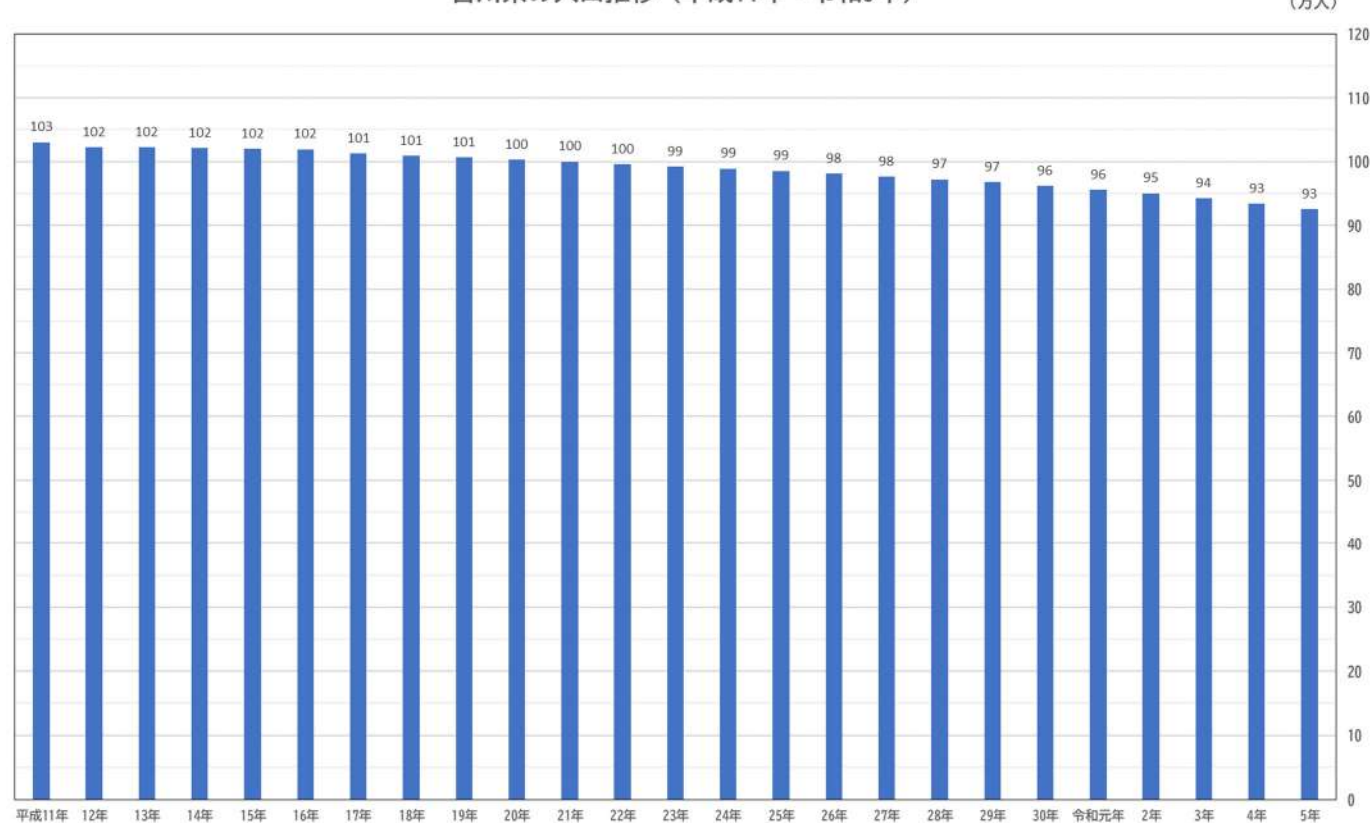
【図表5】

- こうした状況の中、香川県においては、令和3(2021)年度からの新たな香川づくりの指針として、「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画（令和3(2021)年度～令和7(2025)年度）」が策定されている。

- 当該計画における重点施策「人口100万人計画」における取組みの一つとして「県内大学等との連携強化」を掲げ、県内大学等との連携強化、県内大学等の拠点性や魅力の向上に取り組んでいる。

【図表 1】

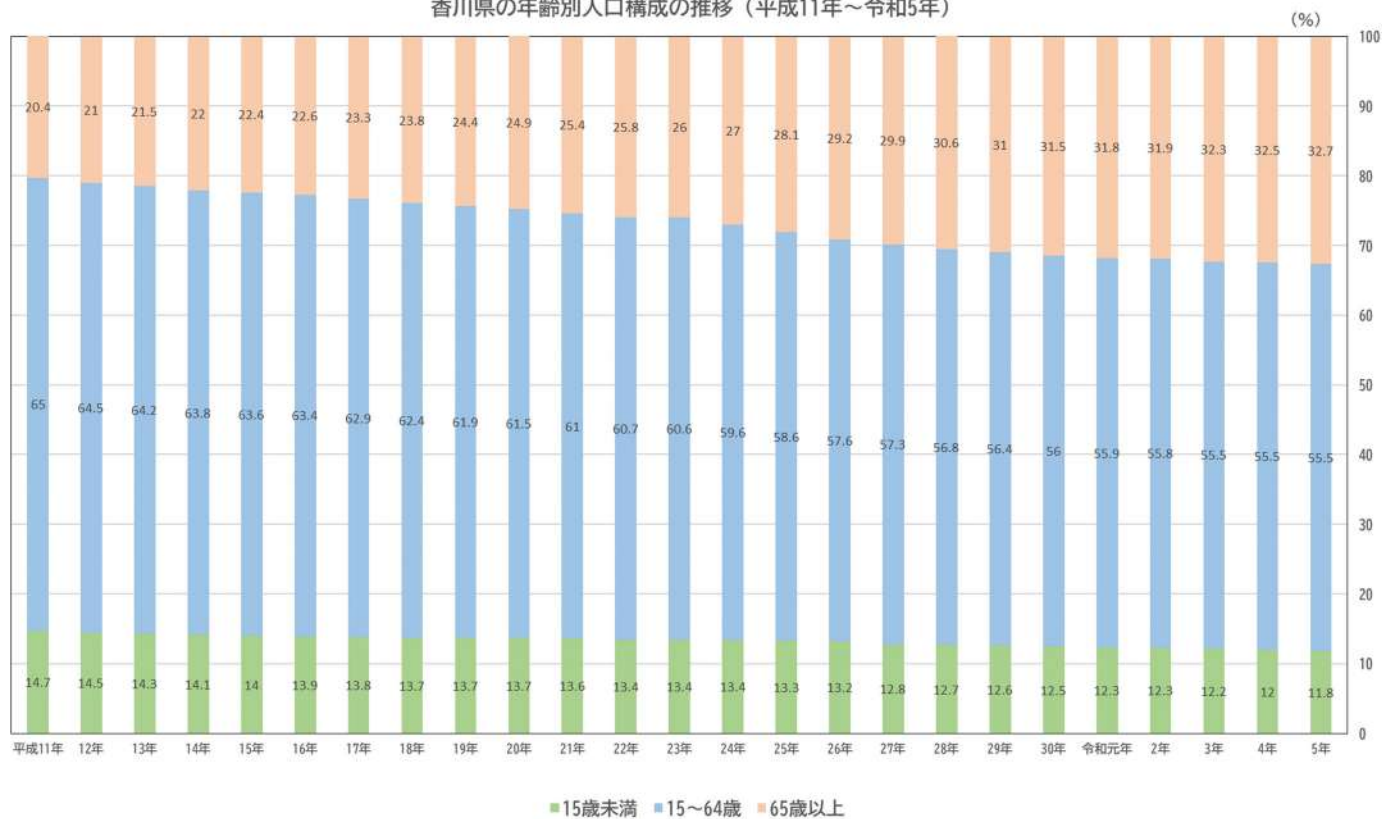
香川県の人口推移（平成11年～令和5年）



※香川県統計調査課「香川県人口移動調査」より作成

【図表 2】

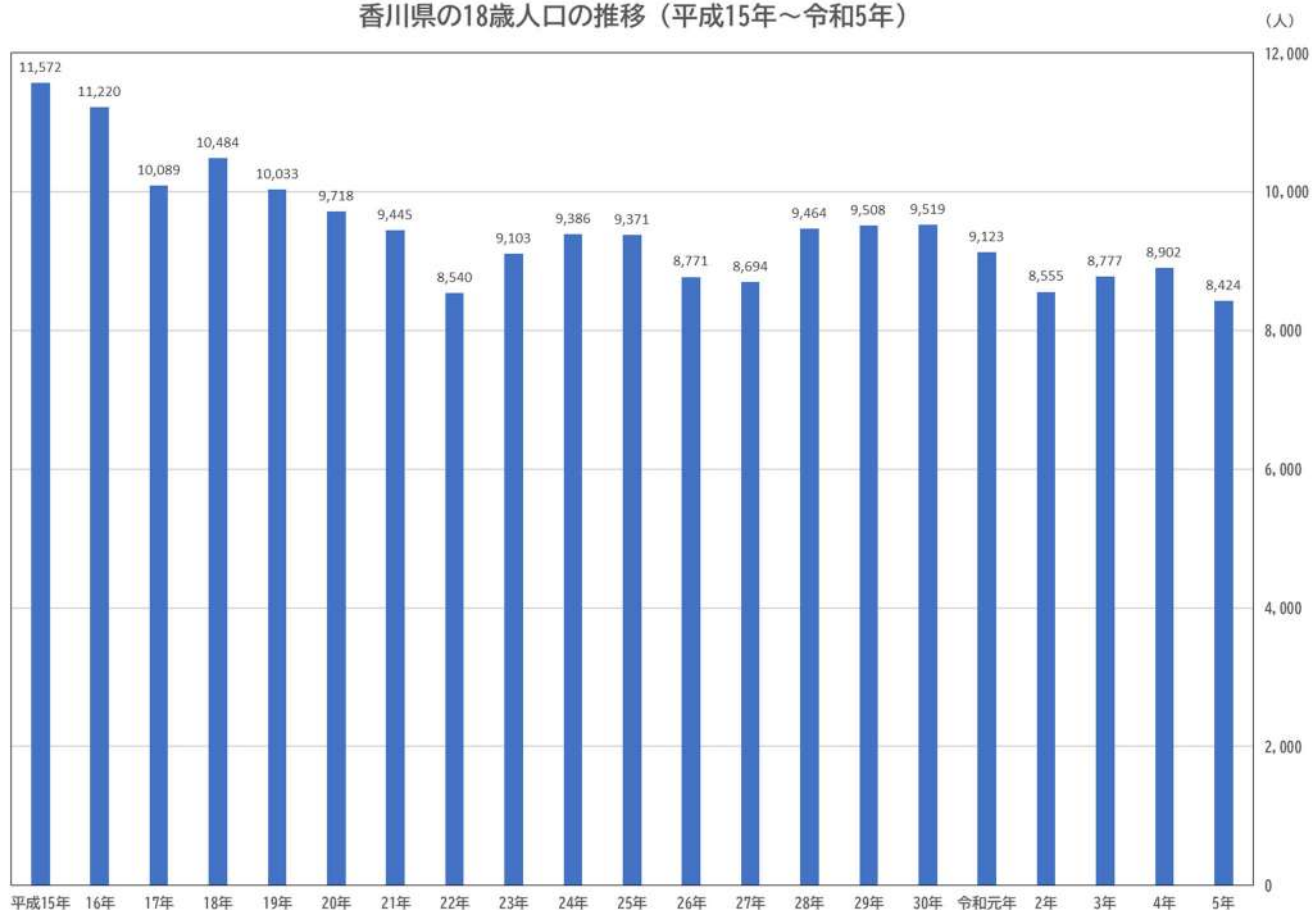
香川県の年齢別人口構成の推移（平成11年～令和5年）



※香川県統計調査課「香川県人口移動調査」より作成

【図表 3】

香川県の18歳人口の推移（平成15年～令和5年）



※香川県統計調査課「香川県人口移動調査」より作成

【図表 4】

香川県内大学・短大への県内進学者数

入学年月	大 学			短 大		
	県内大学進学者数 (人)	大学進学者 (人)	割合 (%)	県内短大進学者数 (人)	短大進学者数 (人)	割合 (%)
令和5年4月	874	5,031	17.4	263	391	67.3
令和4年4月	850	4,876	17.4	282	385	73.2
令和3年4月	832	4,840	17.2	322	446	72.2
令和2年4月	827	4,929	16.8	322	487	66.1
平成31年4月	861	4,874	17.7	316	466	67.8
平成30年4月	837	4,778	17.5	362	517	70.0
平成29年4月	845	4,733	17.9	345	498	69.3
平成28年4月	785	4,461	17.6	302	476	63.4
平成27年4月	784	4,422	17.7	338	501	67.5
平成26年4月	752	4,513	16.7	333	522	63.8
平成25年4月	782	4,464	17.5	364	547	66.5
平成24年4月	701	4,311	16.3	328	527	62.2

※香川県統計調査課「学校基本統計」より作成

※「大学進学者数」及び「短大進学者数」は、県内高校出身者で大学・短大に進学した者の数

※「県内大学進学者数」及び「県内短大進学者数」は、県内高校出身者で県内大学・短大に進学した者の数

【図表 5】

県内大学卒業生の就職先

卒業年月	就職者数※ ¹ (人)	県内就職者数※ ² (人)	県内就職率※ ³ (%)	県内出身者 就職者数※ ⁴ (人)	県内出身者 県内就職者数※ ⁵ (人)	県内出身者 県内就職率※ ⁶ (%)
令和5年3月	1,617	628	42.2	673	528	78.5
令和4年3月	1,514	667	44.1	610	476	78.0
令和3年3月	1,573	681	43.3	659	530	80.4
令和2年3月	1,648	668	40.5	627	485	77.4
平成31年3月	1,598	649	40.6	619	475	76.7
平成30年3月	1,548	655	42.3	584	473	81.0
平成29年3月	1,558	705	45.3	606	499	82.3
平成28年3月	1,511	646	42.8	557	442	82.3
平成27年3月	1,511	664	43.9	592	467	78.9
平成26年3月	1,443	664	46.0	579	486	83.9

県内短大卒業生の就職先

卒業年月	就職者数※ ¹ (人)	県内就職者数※ ² (人)	県内就職率※ ³ (%)	県内出身者 就職者数※ ⁴ (人)	県内出身者 県内就職者数※ ⁵ (人)	県内出身者 県内就職率※ ⁶ (%)
令和5年3月	285	251	88.1	261	246	94.3
令和4年3月	301	272	90.4	276	263	95.3
令和3年3月	319	278	87.1	289	268	92.7
令和2年3月	327	292	89.3	308	288	93.5
平成31年3月	340	309	90.9	306	296	96.7
平成30年3月	300	271	90.3	275	263	95.6
平成29年3月	320	294	91.9	293	280	95.6
平成28年3月	325	296	91.1	295	283	95.9
平成27年3月	335	318	94.9	314	308	98.1
平成26年3月	298	266	89.3	267	254	95.1

県内高専卒業生の就職先

卒業年月	就職者数※ ¹ (人)	県内就職者数※ ² (人)	県内就職率※ ³ (%)	県内出身者 就職者数※ ⁴ (人)	県内出身者 県内就職者数※ ⁵ (人)	県内出身者 県内就職率※ ⁶ (%)
令和5年3月	144	67	46.5	127	64	50.4
令和4年3月	144	59	41.0	129	55	42.6
令和3年3月	140	57	40.7	127	55	43.3
令和2年3月	169	54	32.0	154	53	34.4
平成31年3月	147	50	34.0	130	49	37.7
平成30年3月	146	59	40.4	138	58	42.0
平成29年3月	143	44	30.8	123	42	34.1
平成28年3月	137	46	33.6	120	44	36.7
平成27年3月	126	42	33.3	111	40	36.0
平成26年3月	152	57	37.5	140	55	39.3

※香川県集計

※1 県内大学・短大・高専を卒業して就職した人数

※2 県内大学・短大・高専を卒業生して県内企業に就職した人数

※3 県内就職者数÷就職者

※4 県内出身者で県内大学・短大・高専を卒業して就職した人数

※5 県内出身者で県内大学・短大・高専を卒業して県内企業に就職した人数

※6 県内出身者県内就職数÷県内出身者就職数

(5) ビジョン・基本目標及び数値目標

○ビジョン

地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場を形成する

○「(1)現状と課題」で述べた課題に対応するため、次の基本目標を設定する。

I 大学等間の連携や大学等と県内高校等との連携の強化を図ることにより、教育力向上及び研究を促進するとともに、県内高校生等に対して大学等の魅力を発信し、自県大学進学者の割合を増加させるとともに、県内大学等の入学者を維持する。

【取り組み】：①高大連携・進学推進事業

②大学等連携強化事業

II 地域企業がもつ魅力を発信し、県内大学生等の県内就職を促進する。

【取り組み】：①キャリア支援事業

②地域企業魅力発信強化事業

III 産学官の連携を促進する事業等を推進し、学生等が未知にチャレンジし、地域社会・経済の活性化を図る。

【取り組み】：①地域活性化実践事業

○総合的な達成度を測る目標指標を次のとおり設定する。

指標名	基準値 (2023年度)	目標値 (2028年度)	目標値設定の考え方
自県大学進学者の割合	17.4%	21.0%	2023年度の自県大学進学者の割合17.4%を基準として、2028年度の目標設定を21.0%とする。
県内大学卒業生の 県内就職率	42.2%	52.0%	2023年3月に卒業した県内大学・短大・高専生の県内就職率42.2%を基準として、2028年度の目標設定を52.0%とする。
学生等主体の新規事業数	4件 (累計)	10件 (累計)	2023年度までの新規事業数4件（累計）を基準として、2028年度の目標設定は10件（累計）とする。

(6) 評価体制・評価時期・評価の反映方法

- ・評価体制：運営委員会において、活動指標に対する実績に基づく評価を行う。
- ・評価時期：原則として、事業年度終了の翌年度第2四半期末までに行うものとする。
- ・評価の反映方法：運営委員会における翌年度の事業計画策定時、前年度の評価及び意見を反映させることとする。

(7)ロードマップ

①高大連携・進学推進事業（主幹部会：進学・教育部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度 実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
・大学等の連携により教育力向上及び研究を促進するとともに、県内高校生等に対して大学等の魅力を発信し、県内進学者の増加を図る。	1	出前講座・体験講座等への講師派遣	1) 出前講座等 高校生等を対象に大学等の教職員が出前講座を実施する。出前講座等の講座名や内容を年度初めに情報公開し、活用について積極的に働きかける。 2) 香川わくわく子ども大学 大学等の特色を生かした講座開設により、小学生の学びに向かう力を育成し、課題発見能力や問題解決能力を高める。 3) 探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣 高校の「総合的な探究の時間」に大学等の教職員を派遣して指導・助言を行う。	1) 75件 2) 13講座 3) 1校	1)80件 2) 13講座 3) 1校	1) 85件 2)13講座 3) 2校	1) 90件 2)14講座 3) 2校	1) 95件 2)14講座 3) 3校	1) 100件 2)15講座 3) 3校	1) 100件 2) 15講座 3) 3校
	2	県内大学等合同進学説明会開催	大学等への理解を深めるため、合同の進学説明会を県内高校に出向き、県内大学から県内就職した卒業生を加えて実施	4校	5校	10校	10校	10校	10校	10校
	3	教員対象県内大学等合同進学説明会開催	高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会を実施	ニーズ調査・検討	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	4	高大連携キャリアデザイン研修	県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修等を実施 1) 大学等合同説明会 2) 機関紙「高P連だより」への大学等記事掲載	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回
	5	共同の広報活動	1) オープンキャンパスの共同広告 ホームページで日程表を公開 2) ホームページの活用 プラットフォームの様々な取組を公開 3) パンフレットスタンドの活用 高校に設置のパンフレットスタンドに県内大学等の資料を配付 4) デジタルキャンパスガイドの活用 大学等の魅力を県内外の高校生に	1) 1回 2) 随時実施 3) 随時実施 4) Webサイト 「かがわキャンパスガイド」を作成・公開 5) 1回	1 1回 2) 20回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回	1) 1回 2) 20回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回	1) 1回 2) 30回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回	1) 1回 2) 40回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回	1) 1回 2) 50回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回	1) 3回 2) 50回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回

			情報発信、県内周知のためのチラシ作成・配布 5) 校長会等での広報 校長会や担当者会に参加し、プラットフォームの取組みを周知、協力依頼							
	6	外国人留学生対象の合同大学進学説明会の開催	外国人留学生対象の合同大学進学説明会の開催	—	1回	1回	1回	1回	1回	1回

②大学等連携強化事業（主幹部会：進学・教育部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
・大学等の連携により教育力向上及び研究を促進するとともに、県内高校生等に対して大学等の魅力を発信し、県内進学者の増加を図る。	1	大学間の単位互換	・ 多様かつ柔軟な学修を推進するため、大学等の開設科目の相互履修と単位認定を実施 ・ 教科目の開発を検討	登録者数 10人	12人	14人	16人	18人	20人	登録者数 30人
	2	大学等教職員のFD・SD研修	大学等教職員研修の共同実施	3回	2回	2回	2回	3回	3回	3回
	3	地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	大学等の地域における教育改革や教育改善につなげる中長期グランドデザインを検討	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	4	数理・データサイエンス・AI教育事業	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できるような教育体制の構築・普及	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	5	共同IRの実施	県内大学等に関する進学状況の分析、高校生・保護者・高校教員等への意識調査を実施し高大接続対策に活用	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	6	学生の国際交流	県内大学等の留学生交流会を、参加大学等を拡大・拡充して開催	1回	1回	1回	2回	2回	2回	2回
	7	リスクマネジメント活動	災害等に対するリスクマネジメント対応 (各部会と連携)	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回

③キャリア支援事業（主幹部会：就職・産業振興部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
・県内大学生等の県内就職を促進する取組を実施するとともに、地域企業がもつ魅力を発信して中長期的な県内就職の促進を図る。	1	かがわーくフェア	県内企業が参加する対面形式等での合同企業説明会を実施	2回 参加者317人	2回 320人	2回 320人	2回 350人	2回 350人	2回 380人	2回 380人
	2	業種別オンライン県内企業見学ツアー	香川県内企業による動画等を使った業種別の企業説明会を開催	3回 参加学生86人	3回 100人	3回 120人	3回 140人	3回 160人	3回 180人	3回 180人
	3	うどん県の自治体で働こう大懇談会	香川県内の自治体等の担当者やOB/OGが一堂に集まる大懇談会を開催	1回 参加学生19人	1回 30人	1回 40人	1回 50人	1回 60人	1回 60人	1回 60人
	4	外国人材活用セミナー＆交流会	外国人採用の経験のない県内中小企業に対し、外国人材の活用や雇用方法に関するセミナーを開催するとともに、外国人留学生と企業が接する機会を作る交流イベントを開催	—	25社	25社	30社	30社	35社	35社
	5	学生と県内企業との交流会	県内大学生のキャリア支援を目的に、県内大学等出身の著名人による講演及び学生と若手OB・OG社員との座談会の開催	—	1回	1回	1回	1回	1回	1回

④地域企業魅力発信強化事業（主幹部会：就職・産業振興部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
・県内大学生等の県内就職を促進する取組を実施するとともに、地域企業がもつ魅力を発信して中長期的な県内就職の促進を図る。	1	学生による企業インタビューの実施	学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューをする「インタビューシップ」の拡充	1) 高校4校 (225人) 2) 大学1校 (9人)	1) 5校 2) 1校	1) 5校 2) 1校	1) 5校 2) 1校	1) 5校 2) 2校	1) 5校 2) 2校	1) 高校5校 + α 2) 大学2校
	2	高校・大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	高校、大学等のイベントに県内産業に関するブースを出展し、県内企業や団体の魅力発信に加え、ワークショップを通じた企業・事業を紹介する。	1校	2校	2校	3校	3校	4校	4校
	3	地元中小企業魅力発見ツアー	県内高校生及び大学生を対象とする県内中小企業の見学ツアーを実施	—	2回	2回	2回	2回	2回	2回

⑤地域活性化実践事業（主幹部会：地域活性化部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
産学官の連携を促進する事業等を推進し、地域の活性化を図る。	1	学生等による観光等地域資源の情報発信等	観光等の地域資源を題材に学生らによる体験取材やインバウンド向けを含む情報発信を実施、効果的な発信のための講習会を実施	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回
	2	産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	地域で活躍する産学官関係者や学生らがつながり、相互理解を深め、連携事業創出のための基盤づくりを進める交流会等の開催	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	3	学生との連携を図る活動情報の集約・発信の仕組みづくり	自治体や企業などが、学生との連携・参画を図って実施する活動・イベント・行事等の情報を広く集約、共有、発信する仕組みづくりに取り組む	—	2回	5回	5回	5回	5回	5回

【参考】県内大学等の学術分野マップ

	人文科学系	社会科学系	工学系	農学系	保健系	家政系	教育・芸術系
香川県立 保健医療大学					保健医療学部 看護学科 臨床検査学科		
香川大学		法学部 法学科 経済学部 経済学科	創造工学部 創造工学科	農学部 応用生物科学科	医学部 医学科 看護学科 臨床心理学科		教育学部 学校教育教員養成課程
四国学院大学	文学部 人文学科	社会福祉学部 社会福祉学科 社会学部 カルチュラル・ マネジメント学科					文学部 人文学科 社会学部 カルチュラル・ マネジメント学科
高松大学		経営学部 経営学科					発達科学部 子ども発達学科
徳島文理大学 香川キャンパス ※徳島キャンパス	文学部 文化財学科 日本文学科 英語英米文化学科	総合政策学部※ 総合政策学科 短期大学部※ 商科 言語コミュニケーション学科	理工学部 ナノ物質工学科 機械創造工学科 電子情報工学科 人間生活学部※ メディアデザイン学科 建築デザイン学科		香川薬学部 薬学科 薬学部※ 薬学科 保健福祉学部 診療放射線学科 臨床工学科 口腔保健学科※ 理学療法学科※ 看護学科※ 人間福祉学科※	人間生活学部 食物栄養学科 人間生活学科 短期大学部※ 生活科学科	音楽学部※ 音楽学科 人間生活学部※ 児童学科 心理学科 短期大学部※ 保育科 音楽科
香川短期大学 (2025年度より生活文化学科が食物栄養学科に経営情報科が経営情報・デザイン学科に名称変更)		経営情報・デザイン学科(情報ビジネスコース)				食物栄養学科	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部 経営情報・デザイン学科(デザインアートコース)
高松短期大学		ビジネスデザイン学科					保育学科
せとうち観光 専門職短期大学		観光振興学科					
香川高等専門学校			本科課程(5年) 機械工学科 電気情報工学科 機械電子工学科 建設環境工学科 通信ネットワーク工学科 電子システム工学科 情報工学科 専攻科課程(2年) 創造工学専攻 電子情報通信工学専攻				

【参考】

『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画（令和3(2021)年度～令和7(2025)年度）（抜粋）

重点政策⑦

人口100万人計画

移住・定住の促進や魅力ある地域づくり、関係人口の創出・拡大、県内大学等との連携強化などに取り組み、本県への人の流れをつくり、人口が減少し続ける流れを変え、定住人口の拡大につなげます。

現状と課題

- ◇ 本県の人口は、平成12（2000）年以来、減少が続いており、令和5（2023）年4月1日現在では約92.7万人となっています。令和4（2022）年香川県人口移動調査報告では、転入者数33,645人、転出者数34,075人、430人の転出超過となっており、社会増減は転出超過傾向が続いています。
- ◇ 一方で、本県への移住者数は、令和4（2022）年度に2,499人となっており、働き方や意識の変化により地方移住への関心が高まる中、関心度やニーズに応じた施策の展開、デジタルの活用等により、移住・定住の促進に取り組み、本県への人の流れを創出する必要があります。
- ◇ 離島や過疎地域をはじめ、県下の各地域では、人口減少や高齢化により、地域を支える担い手の不足や地域社会の活力低下が懸念される状況にあります。地域住民主体の地域づくり活動の促進を図るとともに、地域外の人材も含め多様な担い手の確保・活用や、地域外の人材と地域をつなぐ中間支援組織の育成等に取り組む必要があります。
- ◇ 進学や就職の時期における若者の県内定着等の課題解決に向けて、若者が集う地域の県内大学等を基点に、地域の各主体間の連携を強化する必要があります。

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた課題】

- ◇ 大都市圏への過度の集中のリスクが再認識され、地方移住への関心が高まっており、テレワークの活用を推進するなど、働き方や生活様式、ニーズの変化に対応した取組みが求められています。

取組みの方向

1 かがわの魅力の情報発信

- ◇ 移住の検討を始める方などに対して、市町や関係機関と連携した大都市圏での移住・交流フェア等の開催や、移住ポータルサイトやSNS、インターネット広告等さまざまな媒体の活用を通して、本県の魅力を情報発信します。

2 仕事や住まいのマッチング

- ◇ 移住希望者のニーズに応じた、移住・交流コーディネーターによる相談対応や関係機関と連携した就職相談、空き家バンクによる住宅の斡旋など、仕事や住まいのマッチングに取り組みます。

3 定住のサポート

- ◇ 移住された方々に安心して暮らし続けてもらえるよう、相談しやすい仕組みを整えるとともに、移住者同士のネットワークづくりが図られるよう、移住者交流会を開催するなど、定住のサポートを行います。

4 魅力ある地域づくりと関係人口の創出・拡大

- ◇ 地域コミュニティの活性化を図るため、地域住民が主体となって実施する地域づくり活動を支援し、魅力ある地域づくりを進めます。
- ◇ 地域を支える担い手の確保や中間支援組織の育成を図り、将来的な移住・定住につながるため、関係人口と連携・協働して行う地域づくり活動を支援するほか、地域外の人々が離島等を訪れる仕掛けづくりに取り組むなど、関係人口の創出・拡大を図ります。

5 県内大学等との連携強化

- ◇ 県内大学等を基点とする産学官連携の枠組みを活用して、地域の社会経済を支える人材の育成・定着、人材が活躍する場の形成に向けて行う取組みを支援するなど、県内大学等との連携を強化し、県内大学等の拠点性や魅力の向上を図ります。
- ◇ 職業人材を育成する観点から、県内の専修学校等における地元企業等との連携による実践的な職業教育の質の向上に向けた取組みを支援します。

6 県内就職の促進

- ◇ 県内企業の人材確保拠点である「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」におけるきめ細かなマッチング支援を行うとともに、合同就職説明会やセミナー等の開催、オンラインを活用した情報発信・就職支援などに取り組み、若者等の県内就職を促進します。
- ◇ 高校でのキャリア教育における、地域企業等と連携したインターンシップ、県内企業の魅力や県内就職の利点の紹介などを通じ、高校生の主体的な進路選択につなげ、次代の香川を担う人材の育成を推進します。
- ◇ 学生に本県の魅力やUターン・県内就職に関する情報を提供するとともに、「就職支援に関する協定」を締結した県外の大学と連携し、学生の県内就職につなげていきます。
- ◇ 大学等卒業後に県内就職・地元定着した方に奨学金の返還の一部免除等を行う、本県独自の「香川県大学生等奨学金制度」や地元産業界とも連携して実施する「日本学生支援機構第一種奨学金返還支援制度」の実施により、若者の地元定着を促進します。

県民等とともに推進する取組み

[県民]

- ・ 本県の魅力の情報発信

[大学等]

- ・ 県市町、企業等と連携した人材の育成・定着や地域課題の解決

[企業]

- ・ 県のU J I ターン施策への理解・協力
- ・ 求める人材像や職場の魅力の積極的な発信
- ・ インターンシップの受入れ

[市町]

- ・ 移住検討者等への本県の魅力の情報発信
- ・ 移住希望者へのサポート
- ・ 地域コミュニティの活性化に資する取組みや地域の特性を生かした、関係人口の創出・拡大

方向性を同じくするSDGsのゴール

本重点政策の取組みのうち、「かがわの魅力の情報発信」、「仕事や住まいのマッチング」、「定住のサポート」及び「県内就職の促進」は、『8 働きがいも経済成長も』の理念と、「魅力ある地域づくりと関係人口の創出・拡大」は、『11 住み続けられるまちづくりを』の理念と、「県内大学等との連携強化」は、『4 質の高い教育をみんなに』及び『11 住み続けられるまちづくりを』の理念とそれぞれ方向性が同じです。また、香川県大学生等奨学金制度等の実施は、『1 貧困をなくそう』及び『10 人や国の不平等をなくそう』の理念と方向性が同じです。



別冊：各論編 第1章 施策体系（施策の総合的展開）の関連施策

- 29 移住の促進
- 30 若者の定住促進
- 31 地域を支える活動の促進
- 32 県内大学等の充実強化
- 33 県内大学等との連携強化

重点政策⑫

あらゆる世代・人材で香川の産業を支える

働き方改革を推進し、誰もが働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、あらゆる世代や人材の活躍により、正規雇用の促進や雇用のミスマッチ解消、職業能力の開発などを推進し、本県産業を支える人材の安定的な確保を図ります。

現状と課題

- ◇ 少子高齢化の進行や県外への人口流出などにより、特に15歳から64歳までの生産年齢人口が減少する中、本県の有効求人倍率は、平成23（2011）年8月以降、1倍を超える状況が続いており、人材不足となっている県内企業は多く、あらゆる世代や人材の就労を促進し、本県の産業を支える人材の安定的な確保が求められています。
- ◇ 本県における年間総労働時間は概ね減少傾向にあるものの、全国平均に比べ長いことなどから、長時間労働の是正やテレワークの促進など働き方改革を推進することで、誰もが働きやすい職場環境づくりを進め、労働者がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現するとともに、企業の労働生産性や魅力度の向上を支援する必要があります。
- ◇ 多くの業種や職種で人材が不足している一方、県内の事務的職業の有効求人倍率（令和4（2022）年）は、0.63倍と1倍を下回っており、求人と求職のミスマッチが生じています。
- ◇ 本県では、大学進学者の8割以上が県外へ進学しており、将来、地域経済を支える若者の県内への就職を促進するためには、県内外の学生等に県内企業の情報を発信し、若者の理解を深める必要があります。
- ◇ 若者の離職率（平成31（2019）年3月新規学卒就職者の3年目離職率）は、中卒61.1%、高卒32.3%、大卒31.6%となっており、若者の職場定着率向上のためには、若者や経営者等の意識改革を行う必要があります。
- ◇ 令和4（2022）年10月末現在の県内の外国人労働者数は10,274人と、本県経済の持続的発展に必要不可欠な人材となっており、県内事業所における外国人材の受入れの支援を進めていく必要があります。
- ◇ 令和4（2022）年6月末現在の県内在留外国人数は14,234人と、本県人口の約1.5%を占めており、日本人住民と外国人住民の双方が尊重し合える多文化共生社会の実現に向けた取組みを進めていく必要があります。
- ◇ 地域・産業のニーズと社会経済システムの変化を踏まえた職業能力の開発を行う必要があり、高等技術学校の施設内訓練や民間教育訓練機関等を活用した委託訓練により、人材不足分野の職業訓練の充実・強化を図るとともに、新たに求められる分野の人材育成にも取り組む必要があります。

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた課題】

- ◇ 新型コロナウイルス感染症拡大を契機にテレワークなどの多様で柔軟な働き方の導入が進んだことから、そのような働き方を定着させるとともに、より一層進めていく必要があります。

取組みの方向

1 働き方改革の推進

- ◇ 働き方改革の必要性や重要性を啓発するとともに、それぞれの状況に応じて、テレワークなどの多様で柔軟な働き方を推進する企業等の取組みを支援することなどにより、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組めます。
- ◇ 雇用分野における労働関係法令等の普及啓発や、企業経営者や管理職、労働者の意識改革の促進などにより、働く意欲のあるすべての人が働きやすい職場環境づくりを推進します。

2 県内企業の人材確保

- ◇ 県内企業の持続的発展につなげるため、若者の雇用対策の充実や女性、高齢者、障害者等の就労支援、外国人材の受入れ支援・共生推進などに取り組むことにより、あらゆる世代・人材の安定的な確保を図ります。
- ◇ 「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」を県内企業の人材確保拠点と位置づけ、就職支援サイト「ワクサポかがわ」の運営や人材採用コーディネーターによるマッチング支援を通じて、関係機関と連携して学生や求職者の正規雇用での県内就職に向けた取組みを行うことにより、県内企業の人材確保を図ります。
- ◇ 人材不足が深刻化している分野については、多様な人材の活用を促進するとともに、人材確保が必要となる分野については、県内企業と求職者のニーズを踏まえ雇用のミスマッチを解消するなど、県内企業における人材確保に取り組めます。

3 若者の雇用対策の充実

- ◇ 就職活動前のキャリア教育などにより、学生に県内就職を考えるきっかけを提供するほか、「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」におけるきめ細かなマッチング支援やオンラインを活用した情報発信や就職支援を行うとともに、合同就職説明会の開催などに取り組む、若者の正規雇用での県内就職を促進します。
- ◇ 雇用情勢を踏まえた雇用対策を進めるとともに、早い時期での離職を防ぐため、若手社員、経営者等に対する働きかけなどを実施し、若者の職場定着を図ります。
- ◇ 就職氷河期世代を含む若年無業者等に対しては、地域若者サポートステーション等の関係機関と連携し、個々の状況に応じた就労支援を行います。

4 外国人材の受入れ支援・共生推進

- ◇ 「外国人労働人材関係相談窓口」と「かがわ外国人相談支援センター」が連携し、総合的な相談支援を行います。
- ◇ 県内事業所に対し、外国人材の受入れに関する情報提供や県内定着に向けた取組みを行うなど、受入れ・活躍を促進するための支援を行います。
- ◇ コミュニケーションや生活支援、防災面における支援などにより、外国人住民にとって暮らしやすい地域づくりを推進します。

5 職業能力の開発

- ◇ 職業に必要な知識や技能の習得をめざす求職者等に対し、県内企業のニーズや社会経済システムの変化を踏まえた実践的な職業訓練の機会を提供するとともに、県立高等技術学校のあり方についても検討し、職業能力開発の充実・強化を図ります。
- ◇ 技能検定の普及促進や技能の振興などに取り組む、優れた技能の社会的評価や価値の向上を図り、ものづくり技能に対する若者の意識と県民の理解を深め、次世代技能者の育成と技能の承継を促進します。

県民等とともに推進する取組み

[県民]

- ・ 業種や職種を超えた幅広い職業選択への理解
- ・ ワーク・ライフ・バランスの実現
- ・ 職業に必要な知識や技能の習得
- ・ 多文化共生の意識啓発・醸成

[企業]

- ・ 若者を含めた多様な人材の雇用と職場定着への取組み
- ・ 外国人材の受入環境の整備
- ・ テレワークなどの多様で柔軟な働き方をはじめ誰もが働きやすい職場環境づくり
- ・ 従業員の職業能力の向上

[大学・高専などの高等教育機関]

- ・ 学生に対するきめ細かな就職支援策の推進

方向性を同じくするSDGsのゴール

本重点政策の取組みのうち、「働き方改革の推進」は、『3 すべての人に健康と福祉を』、『5 ジェンダー平等を実現しよう』、『8 働きがいも経済成長も』及び『10 人や国の不平等をなくそう』の理念と、「県内企業の人材確保」及び「若者の雇用対策の充実」は、『8 働きがいも経済成長も』の理念と、「外国人材の受入れ支援・共生推進」は、『8 働きがいも経済成長も』、『10 人や国の不平等をなくそう』及び『11 住み続けられるまちづくりを』の理念と、「職業能力の開発」は、『4 質の高い教育をみんなに』の理念とそれぞれ方向性が同じです。



別冊：各論編 第1章 施策体系（施策の総合的展開）の関連施策

- 44 産業の成長を支える人材の育成
- 59 安定した雇用の創出と就労支援
- 60 働き方改革の推進
- 61 外国人材の受入れ支援
- 62 外国人との共生推進
- 73 国際化の推進

1 高大連携事業・進学推進事業【主幹部会：進学・教育部会】

地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着を目的として、県内高等学校を始め初等中等教育機関と連携した事業を行うとともに、県内大学等の情報の提供・広報に関する事業を行う。

取組	内容・達成目標・指標	2024年			2025年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
出前講座・体験講座等への講師派遣	①出前講座 高校生等を対象に大学等の教職員が出前講座を実施する。出前講座等の講座名や内容を年度初めに情報公開し、活用について積極的に働きかける。 ・目標 80件	・企画、準備 ・周知	・実施 ・アンケート調査	・実施 ・アンケート調査	・分析、評価 ・改善等の検討
	②香川わくわく子ども大学 大学等の特色を生かした講座開設により、小学生の学びに向かう力を育成し、課題発見能力や問題解決能力を高める。 ・目標 13講座開講	・企画、準備 ・周知、募集	・実施 ・アンケート調査	・実施 ・アンケート調査	・分析、評価 ・改善等の検討
	③探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣 高校の「総合的な探究の時間」に大学等から講師を派遣して指導・助言を行う。香川県教育研究会「探究部会」へ出席し、プラットフォームでの取り組みを周知する。 ・目標 1校	・企画、準備 ・周知、募集	・実施 ・アンケート調査	・周知、募集 ・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
県内大学等合同進学説明会	県内大学等への理解を深めるため、県内大学等が高校に出向き、合同で実施する説明会を、ロールモデルとしての卒業生の参加や運営方法の改善を通じ、より効果的に実施する。 ・目標 5校	・実施校決定 ・実施	・実施 ・分析、評価 ・改善の検討	・実施 ・分析、評価 ・改善の検討	・次年度の募集
教員対象県内大学等合同進学説明会	高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会を実施する。 ・目標 1回	・企画、準備 ・周知、募集	・周知、募集 ・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
高大連携キャリアデザイン研修	県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修（合同説明会）、機関誌やホームページへの寄稿などを行う。 ・大学等合同説明会 目標1回（11月9日）を実施する。 ・機関紙「高P連だより」への大学等記事掲載 目標 2回（10月、3月発行）	・企画、準備	・準備	・合同説明会実施 ・機関誌への掲載	・機関誌への掲載 ・分析、評価 ・改善等の検討
共同の広報活動	ホームページ、メディア等を活用して広報活動を積極的に行う。 広報活動を通じて、県内大学等への進学増加や若者の県内定着に繋げる。 ①オープンキャンパスの共同広告 ・日程等の公表1回 ・プラットフォーム構成校の相互広報 ②ホームページの活用 ・目標 年間20件以上掲載 ③高校設置のパンフレットスタンドを活用 ・目標 年3回資料補充 ④デジタルキャンパスガイドの活用 ・周知用チラシ作成、配布及び県内外高校生への情報発信 ・目標 1回 ⑤校長会等での周知、協力依頼 ・目標 3回	①日程公表 ②情報収集、更新 ③企画、準備、実施 ④企画、準備 ⑤周知	①日程公表 ②情報収集、更新 ③実施 ④チラシ作成、情報発信 ⑤周知	①日程公表 ②情報収集、更新 ③実施 ④情報発信 ⑤周知	①～⑤ 分析、評価、改善等の検討
外国人留学生対象の合同大学進学説明会の開催	外国人留学生対象の合同大学進学説明会を開催する。 ・目標 1回	・企画、準備 ・周知、募集	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討

2 大学等連携強化事業【主幹部会：進学・教育部会】

地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着を目的として、県内大学等が連携して教育の向上及び研究の促進に努めるなど魅力向上に資する事業を行う。

取組	内容・達成目標・指標	2024年			2025年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
大学間の単位互換	多様かつ柔軟な学修を推進するため、県内大学等の開設科目の相互履修と単位認定を実施する。 ・目標講座数730講座（登録者数12人） ・オンデマンドやeラーニング等のコンテンツを持つ大学等が単位互換科目を設定すること、地域志向科目など共同科目の開発を検討する。	・履修案内 ・実施	・実施	・実施	・分析・評価 ・科目調査 ・履修案内
大学教員のFD・SD研修	・大学等教職員研修を共同実施する。 ・高等教育の中長期グランドデザイン、数理・データサイエンス・AI教育、リスクマネジメント等を研修内容とする。 ・目標 2回（100人参加）	・企画、準備	・実施	・実施	・実施 ・分析、評価 ・改善等の検討
地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	長期的な高等教育の展望、教育の質の保証等について議論し、大学等の地域における教育改革や教育改善を図る。 ・目標 1回（外部講師招聘による研修会も開催）	・企画、準備	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討
数理・データサイエンス・AI教育事業	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できるよう教育体制の構築・普及を行う。同時に、この分野を牽引できる国際競争力のある人材および産学で活躍できるトップクラスのエキスパート人材を育成する。 ・研修会 1回 他県研修会の随時案内	・企画、準備 ・実施	・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
共同IRの実施	県内大学等に関する進学状況の分析、高校生・保護者・高校教員等への意識調査を実施し高大接続対策に活用する。 ・目標 1回	・企画、準備	・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
学生の国際交流会の開催	・各大学等の外国人学生間の交流の機会を設け交流を促進する。 ・目標 1回（20人参加）	・企画、準備	・企画、準備 ・募集	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
リスクマネジメント活動	災害等に対するリスクマネジメント対応（各部会と連携） ・目標 1回	・企画、準備	・企画、準備 ・募集	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討

3 キャリア支援事業【主幹部会：就職・産業振興部会】

県内大学等および各経済団体は県内就職の推進を行っており、これまでの内容を点検・検証し、継続・改善に止まらず、新たなキャリア支援策にチャレンジして県内学生の県内就職と定着の拡大を目指す。

取組	内容・達成目標・指標	2024年			2025年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
かがわーくフェア	・合同企業説明会に向けて、各機関が連携して参加学生の増員と新たな魅力づくりを行う。 ・目標 2回、参加者320人	・企画、準備 ・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・準備	・企画、準備 ・実施
業種別オンライン 県内企業見学 ツアー	・香川県内企業による動画等を使った業種別の企業説明会を開催する。 ・目標 3回、参加学生100人	・企画、準備	・募集 ・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討
うどん県の自治体 で働こう大懇談会	・香川県内の自治体等の担当者やOB・OGが一堂に集まる大懇談会を開催する。（共催事業） ・目標 1回、参加学生30人	・企画、準備	・募集 ・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討
外国人材活用セミナー&交流会	外国人採用の経験のない県内中小企業に対し、外国人材の活用や雇用方法等に関するセミナー開催とともに、外国人留学生と企業が接する機会を作る交流イベントを開催する。 ・目標 参加企業数25社	・企画、準備	・準備	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
学生と県内企業との交流会	県内大学生のキャリア支援を目的に、県内大学等出身の著名人による講演及び学生と各大学が選別した若手OB・OG社員との座談会を開催する。 ・目標 1回	・企画、準備	・準備	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討

4 地域企業魅力発信強化事業【主幹部会：就職・産業振興部会】

取組	内容・達成目標・指標	2024年			2025年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
学生による企業インタビューシップの実施	学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューする「インタビューシップ」を実施する。 ・目標 高校5校、大学1校	・企画、準備	・準備 ・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	高校、大学等のイベントに県内産業に関するブースを出展し、県内企業や団体の魅力発信に加え、ワークショップを通じた企業・事業を紹介する。 ・目標 2回	・企画、準備	・準備 ・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
地元中小企業魅力発見ツアー	県内高校生及び大学生を対象とする県内中小企業の見学ツアーを実施し、県内企業の魅力発信を強化する。 ・目標 2回	・企画、準備	・準備	・準備	・実施 ・分析、評価 ・改善等の検討

5 地域活性化実践事業【主幹部会：地域活性化部会】

取組	内容・達成目標・指標	2024年			2025年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
学生等による観光等地域資源の情報発信	・観光等の地域資源を題材に学生らによる体験取材やインバウンド向けを含む情報発信を実施する。また、効果的な発信のための講習会を開催する。 ・目標 講習会1回、情報発信4回	・企画、準備 ・講習会実施	・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	地域で活躍する産学官関係者や学生らがつながり、相互理解を深め、連携事業創出のための基盤づくりを進める交流会等を開催する。 ・目標 2回	・企画、準備	・実施	・実施	・実施 ・分析、評価 ・改善等の検討
学生との連携を図る活動情報の集約・発信の仕組みづくり	自治体や企業などが、学生との連携・参画を図って実施する活動・イベント・行事等の情報を広く集約、共有、発信する仕組みづくりに取り組む。 ・目標 情報発信2回	・企画、準備 ・実施	・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討

大学・地域共創プラットフォーム香川規約の一部改正について（案）

このことについて、下記の理由により、別添のとおり一部改正を提案する。

記

一部改正の理由

規約第12条第1項第1号の運営委員会が行う事項として、以下の新旧対照表のとおり、中長期計画の評価に関することを追加する。

大学・地域共創プラットフォーム香川規約新旧対照表

新	旧（現行）
（略） （運営委員会） 第12条 プラットフォームに、次の各号に係る事項を行わせるため運営委員会を設置する。 （1）中長期計画の企画・立案・評価に関すること （2）事業計画の企画・立案に関すること （3）予算の企画・立案に関すること （4）部会の設置・廃止の検討に関すること （5）プラットフォームの会費の検討に関すること （6）その他プラットフォームの事業実施にあたっての検討及び企画調整に関すること （略） <u>附則</u> <u>この規約は、令和6年 月 日から施行する。</u>	（略） （運営委員会） 第12条 プラットフォームに、次の各号に係る事項を行わせるため運営委員会を設置する。 （1）中長期計画の企画・立案に関すること （2）事業計画の企画・立案に関すること （3）予算の企画・立案に関すること （4）部会の設置・廃止の検討に関すること （5）プラットフォームの会費の検討に関すること （6）その他プラットフォームの事業実施にあたっての検討及び企画調整に関すること （略）

大学・地域共創プラットフォーム香川規約

(名称)

第1条 本会は、大学・地域共創プラットフォーム香川（以下「プラットフォーム」という。）と称する。

(目的)

第2条 プラットフォームは、香川県内の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「県内大学等」という。）を基点に、地域の各主体が知見を共有し、連携してこれからの地域を支える観点から、産業界、行政等を加えた産学官のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 プラットフォームは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着に関する事業
- (2) 地域社会・地域経済活性化のための地域課題への対応・解決に関する事業
- (3) 地域の産業振興に関する事業
- (4) 県内大学等の教育の向上及び研究の促進に関する事業
- (5) 県内大学等の情報の提供・広報に関する事業
- (6) その他プラットフォームの目的を達成するために必要な事業

(組織)

第4条 プラットフォームは、別表の左欄に掲げるもの（以下「構成員」という。）をもって組織する。

(入退会)

第5条 プラットフォームに入会しようとするものは、書面により会長に申し出るものとし、第11条に定める総会の議決を経て、入会することができる。

- 2 構成員が、プラットフォームを退会しようとする場合には、原則として退会する3か月前までに、書面により会長に申し出た上で、第11条に定める総会の議決を得なければならない。

(機関)

第6条 プラットフォームは、第3条の事業を行うために、総会、運営委員会、部会及び事務局を設置する。

(役員)

第7条 プラットフォームに次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監事 2名

(選任等)

第8条 プラットフォームに会長を置き、会長は、香川大学長をもって充てる。

2 前条の副会長及び監事は、別表の左欄に掲げる構成員において、同表の右欄に掲げる役職にある者のうちから、総会において互選により選任する。

3 副会長及び監事の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 補欠の副会長及び監事の任期は、前任者の残任期間とする。

5 副会長及び監事は、前2項の規定にかかわらず、後任者が就任するまでの間、その職務を行う。

6 会長、副会長及び監事（以下「役員」という。）が次の各号のいずれかに該当するときは、総会の3分の2以上の議決により、解任することができる。

(1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。

(2) 職務上の義務違反その他役員にふさわしくない行為があると認められるとき。

(職務)

第9条 会長は、プラットフォームを代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

3 監事は、会計を監査する。

(報酬)

第10条 役員は、無報酬とする。

(総会)

第11条 総会は、別表の左欄に掲げる構成員において、同表の右欄に掲げる役職にある者（以下「委員」という。）により構成する。

2 総会は、次の各号に掲げる事項を審議・決定する。

- (1) プラットフォームの運営に関する重要事項
- (2) 事業計画に関すること

(3) 予算及び決算に関する事項

(4) 副会長及び監事の選出に関する事

(5) その他重要事項

3 総会は、会長が招集し、その議長となる。

4 総会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決をすることができない。

5 総会の議事は、出席した委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

6 やむを得ず総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、書面又は代理人をもって表決権を行使することができる。これにより表決権を行使した委員は、第4項の規定については出席したものとみなす。

7 総会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(運営委員会)

第12条 プラットフォームに、次の各号に係る事項を行わせるため運営委員会を設置する。

(1) 中長期計画の企画・立案・評価に関する事

(2) 事業計画の企画・立案に関する事

(3) 予算の企画・立案に関する事

(4) 部会の設置・廃止の検討に関する事

(5) プラットフォームの会費の検討に関する事

(6) その他プラットフォームの事業実施にあたっての検討及び企画調整に関する事

2 運営委員会は、委員が指名する者及び事務局長(以下「運営委員会委員」という。)により構成することとし、委員は、1名の運営委員会委員を指名するものとする。ただし、特別の事情がある場合には、この限りではない。

3 運営委員会は、委員会において審議・決定した事項を総会に報告しなければならない。

4 運営委員会は、事業実施を円滑に推進するため、必要に応じ、別途、部会及びその他の組織を設けることができる。

5 前条第3項から第7項について、「総会」を「運営委員会」、「委員」を「運営委員会委員」、「会長」を「事務局長」と読み替えて準用する。

6 運営委員会は、必要に応じ、書面により運営委員会委員の意見を聞くことができる。書面による運営委員会委員への意見聴取の結果は、前項により準用する前条第5項に定める運営委員会における議決と同等の効力を有する。

(部会)

第13条 プラットフォームは、事業運営のため部会を置く。

2 部会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第14条 プラットフォームに関する事務を処理するため、香川大学に事務局を設置する。

2 事務局には、事務局長を置く。

3 事務局長は、会長が指名する者をもって充てる。

4 事務局は、総会及び運営委員会の事務を処理する。

(会計)

第15条 プラットフォームの会計は、構成員の会費、負担金、寄付金、補助金及びその他の収入をもって充てることとし、会費に関し必要な事項は、別に定める。

2 会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(規約の変更)

第16条 この規約は、総会の議事を経なければ変更することはできない。ただし、その変更が、軽微な場合には、運営委員会において、規約の変更を行うことができる。

2 前項ただし書きにより、規約の変更を行った場合には、運営委員会は、総会においてその内容を報告しなければならない。

別表（第4条関係）（順不同）

○県内大学等

名称	役職
香川大学	学長
香川県立保健医療大学	学長
四国学院大学	学長
徳島文理大学	学長
高松大学	学長
香川短期大学	学長
高松短期大学	学長
せとうち観光専門職短期大学	学長
香川高等専門学校	校長

○経済団体等

名称	役職
----	----

香川県商工会議所連合会	会長
香川県商工会連合会	会長
香川県中小企業団体中央会	会長
香川経済同友会	代表幹事
香川県中小企業家同友会	代表理事
香川県農業協同組合中央会	代表理事会長
香川県漁業協同組合連合会	代表理事会長
香川県銀行協会	会長

○行政機関

名称	役職
高松市	市長
丸亀市	市長
坂出市	市長
善通寺市	市長
観音寺市	市長
さぬき市	市長
東かがわ市	市長
三豊市	市長
土庄町	町長
小豆島町	町長
三木町	町長
直島町	町長
宇多津町	町長
綾川町	町長
琴平町	町長
多度津町	町長
まんのう町	町長
香川県	知事

附則

- 1 この規約は、令和4年3月28日から施行する。
- 2 この規約の施行後、最初に任命される第7条に定める副会長及び監事の任期は、第8条第3項の規定にかかわらず、令和6年3月31日までとする。
- 3 プラットフォームの最初の事業年度は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までとする。

附則

この規約は、令和6年 月 日から施行する。

令和5年度事業達成評価について ～旧大学コンソーシアム香川中長期計画に基づく評価～

資料5

【趣旨】

「Society5.0」の実現に向けた特色ある教育研究の推進や高度研究を実現する体制・環境の構築、地域社会への貢献、社会課題を解決する研究開発・社会実装の推進など、自らの特色・強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を重点的に支援する、私立大学・短大等を対象とする文部科学省の補助事業「私立大学等総合改革支援事業」がある。

各大学における取り組みに応じた申請ができるよう、4タイプが用意されている。

【タイプ3「地域社会の発展への貢献」プラットフォーム型】

上記の補助事業4タイプのうちの1つ。

大学間、自治体・産業界等との連携を進めるためのプラットフォーム形成を通じた、地域と大学等双方の発展に向けた取組を支援するもの。

【実績】 ※平成30年度から「大学コンソーシアム香川」をプラットフォームとして活用し、上記補助事業への申請等を行ってきたところである。

(H30)不選定 (R1)不選定 (R2)選定 (R3)不申請 (R4)不申請 (R5)選定

【求められる対応】

私立大学等総合改革支援事業の申請については、所属する地域連携プラットフォームにおいて、中長期計画を策定していること及び中長期計画の実施状況について、評価し、公表することが求められている。

令和4年度第1回運営委員会及び総会において、「旧大学コンソーシアム香川」の中長期計画（計画期間：2019年～2023年）の暫定的な使用についてご承認いただいたところであり、令和5年度事業の評価は当該計画に基づき行うこととしたい。

令和5年度事業の評価については、事業に関係する部会が作成した評価を3部会の部会長が3部会合同連絡会において取りまとめ、令和6年度第1回運営委員会で承認をいただいた。

大学・地域共創プラットフォーム香川 2023 年度中長期計画達成状況評価表

3部会合同連絡会
令和6年7月18日

取組内容	2023 年度計画	2023 年度実施内容	自己評価
1 高大連携事業・進学促進事業 ①高校生等を対象に大学等の教職員が出前講座を実施 ②小学生を対象に、大学等の教職員がそれぞれの専門分野を活かした体験講座「香川わくわく子ども大学」を提供 ③高校の「総合的な探究の時間」に大学等の教職員を派遣して指導・助言を実施 ④大学等が共同で高校に出向いて進学説明会を実施 ⑤高校教員を対象とする県内大学等合同の説明会・交流会の実施に向けた検討 ⑥県高等学校 PTA 連合会との連携による保護者対象の研修、会報誌を活用した広報の実施 ⑦学生募集のための広報活動の実施 オープンキャンパスの共同広告、ホームページの活用、高校設置のパンフレットスタンドの活用、デジタルキャンパスガイドの作成・公開	①出前講座の情報発信と実施 150 件 ②香川わくわく子ども大学 10 講座 ③高校の「総合的な探究の時間」で大学等の教職員が指導・助言 1 校 ④合同進学説明会の実施 6 校 ⑤合同大学説明会・交流会の検討 ⑥高大連携キャリアデザイン研修 開催1回、「高 P 連だより」への記事掲載 2 回 ⑦オープンキャンパスの共同広告 1 回 ホームページの活用 50 件 高校設置のパンフレットスタンドの活用 3 回資料補充 デジタルキャンパスガイドの作成公開 1 回	①実施件数:75 件 出前講座の情報を各高校へ郵送・周知、アンケート調査を実施 ②開講数:13 講座 参加者数:小学生 286 名(親子 232 組) 開催校・開催日:高松大学(8/5)、徳島文理大学(7/22,7/29,8/19,8/27)、香川短期大学(8/11,9/30,11/25) ③高松北高校 1 校に「グローバルスタディ成果発表会(総合的な探究の時間)」の指導助言者として徳島文理大学から教員1名派遣(11/24) ④実施校数:4 校 実施校・実施日:香川中央高校(6/15)、高松中央高校(7/3)、小豆島中央高校(7/20)、高松東高校(9/27) 高松中央高校及び小豆島中央高校では県内大学等から県内就職した OG が参加し、ロールモデルとして県内大学等を PR ⑤高校から意見を聴取し、関係機関と協議・検討を行った。次年度は県内大学等合同進学説明会等と並行して実施することとした。 ⑥高大連携キャリア研修 開催日:12/9 会場:かがわ国際会議場 参加者数:県内高校生・保護者・高校教員等会場約 190 名、オンライン約 140 名 「高 P 連だより」に 2 大学、2 短大の記事を掲載(10 月、3 月発行) ⑦オープンキャンパス日程一覧を PF ホームページにて公開 ホームページへの行事予定・報告掲載:予定 7 件、報告 18 件 高校設置のパンフレットスタンドには、各大学等において適宜資料を補充 Web サイト「かがわキャンパスガイド」を作成・公開(9/28)し、学習アプリでの広告配信を実施した。(3/6～3/11) 閲覧者数 2,706 名(3/31 現在)	①実施件数は計画の半数であったが、講座に対する評価は、「期待以上だった」と「期待通りだった」を合わせると 100%であった(回答率 29.3%)。出前講座活用の周知、アンケート回収率の向上などが課題である。 ②目標数を上回る講座を開催できた。参加者対象のアンケートでは、「とても満足できた」と「満足できた」を合わせた評価が 99.5%であった。(回答率 86.2%) ③高校からの要望により 1 大学から教員を派遣した。指導内容に対する高校の満足度は高かった。 ④県内大学等がより多くの高校生/高校教員と接する機会を作るため、説明会の実施高校を増やすことが課題である。 ⑤高校教員との交流会は高校側に負担となるため実施が難しい。高校のニーズに沿った形で実施することが課題である。 ⑥計画通り実施できた。大学等合同説明会に対するアンケート結果は、「とても良かった」と「良かった」を合わせた評価が 97%であった。 ⑦ホームページ等を活用した効果的・効率的な情報発信を行うことが課題である。 全体としては、ほぼ計画通りに実行できているが、各取組に対する理解・協力が得られるよう小中高校との連携強化を図るとともに、ニーズに対応できる取組となるよう改善に努めたい。 【評価】B
2 大学等連携強化事業 ①県内大学生等に多様かつ柔軟な学修の機会を提供 ②教職員研修としてFD・SD活動の共同開催 ③各大学の外国人学生間の交流の機会を設ける ④リスクマネジメントに関する研究会・協議会等の開催 ⑤長期的な高等教育の展望、教育の質の保証等について議論し、大学等の地域における教育改革や教育改善を図る ⑥県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AI を	①単位互換科目の共同開設 730 講座 受講者数 10 人 ②高等教育の中長期グランドデザイン、リスクマネジメント、数理・データサイエンス・AI 教育等の研修実施 3回 80 人 ③各大学等の外国人学生間の交流会 2 回 70 人参加	①単位互換科目を 554 講座開設、受講者数 10 人 ②「地方大学の新たな選択肢～これからの魅力ある地方大学とは～」(9/22) 参加者数 27 名 「危機管理シンポジウム」(12/4) 参加者数 189 名 「数理・データサイエンス・AI 共育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム」(3/6) 参加者数 92 名 ③うどん打ち体験交流(12/17) 参加者数 6 名(4 カ国)	①地理的・時間的制約、学生の動機付けが課題であり、オンデマンドや eラーニングの活用、地域志向科目の開講などを検討したい。 ②計画通り実施できた。教育・研究機能の充実や地域貢献に資するようなテーマ設定が課題である。 ③楽しく交流できたが、実施時期、内容、参加募

習得できるよう教育体制の構築・普及を行う。	④自然災害や人為災害等に対する大学等の リスクマネジメント体制を構築する取組 2 回 ⑤外部講師招聘による研修会 1 回 ⑥研修会 1 回、他県研修会の随時案内	④危機管理シンポジウム(12/4、香川大学主催、PF 香川共催) 参加者数:189 名(会場 69 名、オンライン 120 名) ⑤外部講師招聘による研修会「地方大学の新たな選択肢～これからの魅力 ある地方大学とは～」(9/22) 参加者数 27 名 ⑥数理・データサイエンス・AI 共育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシン ポジウム(3/6) 参加者数 92 名	集方法などを見直したい。 ④計画通り実施できた。香川大学で行われるイ ベントに構成大学等から積極的に参加するよ う働きかけたい。 ⑤計画通り実施できた。 ⑥計画通り実施できた。 【評価】 B
3 地域内就職の推進に向けたキャリア支援事業 ①業種別の複数社によるオンラインでの企業説明会の開催 ②県内自治体等の担当者やOB・OGと県内大学生が一堂に集 まる大懇談会の開催 ③就職活動の始め方や企業研究の方法を説明する研修会の 開催 ④就職支援を目的とした就職面接会及び個別面談会の開催	①オンラインでの企業説明会の開催 3 回 ②大懇談会の開催 1 回 ③研修会の開催 1 回 ④就職面接会及び個別面談会の開催 3 回	①8 月 2 回、9 月 1 回 参加者数 86 名 ②9 月に開催 参加者数 19 名 ③10 月に開催 参加者数 19 人 ④4 月、3 月に開催(2 回) 参加者数 (対面)延 290 名 (オンライン)延 27 名	①参加者数が昨年の 187 人から 86 人へと減少 した。学生アンケートによる評価は「満足」「や や満足」の合計が約 9 割を超えた。予定通り に開催できた取組みは、参加学生の満足度は 非常に高かった。課題としては、学生参加者の 確保、参加各企業の持ち時間の長さを使い 方、コース内容の検討等が挙げられる。 ②学生アンケートによる評価は「満足」、「やや満 足」の合計が 100%となった。課題としては、学 生参加者の確保が挙げられる。 ③企業担当者を招聘し、就職活動のポイントを解 説した。課題としては、学生参加者の確保が挙 げられる。また、各大学においても同様の研修 が実施されているところであり、内容の抜本的 な見直しを検討する必要がある。 ④学生等の就職支援を目的とした内容ではある が、「かがわーくフェア」とは異なる「かがわ JOB フェスタ」を実施したことから、実施回数 が 2 回となった。 【評価】 B

【評価】

- S:当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。
- A:当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。
- B:当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。
- C:当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。
- D:当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。

数値目標の達成状況① 自県大学進学者の割合 21.0%	数値目標の達成状況② 県内大学卒業生の県内就職率 52.0%
自県大学進学者の割合 17.4%(令和5年4月入学)	県内大学卒業生の県内就職率 40.1%(令和6年3月卒業)

令和5年度総合評価
B

令和6年度大学・地域共創プラットフォーム香川
産学官共創チャレンジ支援補助金について

資料6

香川県からの補助金を原資とする令和6年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金（予算額3千万円）の募集（募集期間：令和6年4月11日～5月10日）を行いました。

本補助金は、提出があった事業計画書について、まずは各部長がPF事業として適当な事業であるか確認を行い、その後PFとして香川県に提出するというスキームを取っています。

令和6年度については、30件の応募があり、香川県による審査を経て、下記のとおり17件の採択を行いましたので、ご報告いたします。

応募件数	30 件	採択件数	17 件
補助対象経費総額	58,699,000 円	交付決定額	30,000,000 円

なお、採択案件は下記のとおりです。

No.	事業名	★補助事業者 及び参画団体	交付決定 額	事業概要
1	「讃岐米」のブランドマーケティング戦略の研究	★香川大学、香川短期大学、(株)四国ライス、香川県	1,673 千円	「讃岐米」及び「米」自身のブランド再構築のため、具材研究・キッチンカーを活用したおむすび販売の実証実験
2	農業軽労化ロボットの有効活用のための人材育成	★香川大学、大豊産業(株)、香川県農業試験場	3,000 千円	イベントを通じて、農業従事者とロボット開発者相互の理解を深め、真に農業の軽労化に貢献する技術開発に繋げる。また若年労働者の農業への興味も創出する。
3	かがわの会社探検	★香川大学、(株)石垣、(株)レクザム、オリエンタルモーター(株)、(株)タダノ、香川県教育委員会	270 千円	夏休み中の小学生を対象とし、工場見学と工作教室を組み合わせたイベントを開催し、地域企業への関心及び科学技術への関心を深める。
4	香川大学型 DX 推進モデル（DX 推進カタログサイトの構築、DX 人材育成教育プログラムの開発）の地域展開	★香川大学、(株)リコーージャパン、日本マイクロソフト(株)、高松商工会議所、香川県	4,980 千円	中小企業を対象とした業務システムソリューションカタログサイトの開設、中小企業向けの DX 推進人材育成プログラムの設計・開発、「Kadai DX シンポジウム」を開催し、中小企業の DX 推進を支援する。

5	まんのう町たからもの「再！」発見プロジェクト	★香川大学、(一社) サンフラワーまんのう、まんのう町	1,400 千円	町内に高校・大学がなく、地元の若者が町を知る機会が少ないという課題に対し、中学生が香川大学生とともに町内でフィールドワークを行い、町の良さに関する動画を製作。中学生の地元への愛着心を育てつつ、地域の魅力を広く発信する。
6	未来教室(小児生活習慣病対策のための出前教室の実施と、香川県下における地域に根ざした指導人材の育成)	★香川大学、松谷化学工業(株)、香川県	1,105 千円	子どもたちに早期の段階から自分たちの健康について考えてもらうための課題解決型学習体験イベント「未来教室」を開催。大学生等の参加により、地域に根差した健康に関しての指導体制を持続的に継続し、指導人材・スペシャリストの育成を行う。
7	サンポートエリアの魅力発信事業(バーチャルツアー)	★徳島文理大学、西日本放送サービス(株)、シンボルタワー開発(株)、高松市	2,950 千円	大学生が地元施設等を巻き込みながら、サンポートエリアの魅力的な施設・建造物の動画やバーチャルツアーサイトを作成・発信。サンポートエリア利用者の増加を目指すとともに、産学官が連携した街づくりの推進を図る。
8	クラファンで解決まで導く完結型探究学習プログラムの実践	★香川高等専門学校、(株) ナイスタウン、丸亀市・丸亀市市民交流活動センターマルタス	910 千円	地域課題を解決する事業の立ち上げを目指したクラウドファンディングに挑戦する探究学習プログラムを実践し、このプログラムで学習した学生が、クラウドファンディングで得た資金をもとに、そのビジネスモデルを起業につなげることで、香川県に関わる人材育成の促進を目指す。
9	Wel-Fes in SGU 2024	★四国学院大学、市民団体福祉 works まんまーれ、特定非営利活動法人 SAJA たんぽぽ、特定非営利活動法人 L' espace labo、善通寺市	477 千円	四国学院大学主催の「Wel-Fes in SGU (社会福祉学部ふくし祭)」において、市民による地域づくりに関する実践報告及びレクチャー、様々な福祉体験プログラム、福祉マルシェの実施を行い、学生や保護者、学校関係者等に発信するこ

				とで、社会福祉分野への興味・関心を高め、県内における社会福祉領域への進路・就職意欲の向上を図る。
10	「石の島」小豆島の歴史文化と魅力を発信する商品開発事業ー石チョコ・プロジェクトー	★土庄町、道の駅大阪城残石記念公園、香川大学、春日堂（株）、（株）パオフィールほか	1,466 千円	小豆島の石の歴史文化を発信するツールとして、お土産「石チョコ」を産学官が連携して開発し、道の駅での試食を通して改良を検討。石の島としてのブランディングを強化する。
11	適塩レシピの研究・PRを通じた学生と事業者のマッチング事業	★丸亀商工会議所、香川短期大学、丸亀市、香川県農業協同組合丸亀統括店ほか	1,660 千円	適塩レシピの研究・PRにより、学生のスキルアップと企業の健康に配慮した経営を推進することで、県内学生や県内出身の県外在住学生の人材確保・定着に寄与する。
12	～地域に根ざし、科学と生活をつなぐ理系人材創り～	★高松帝酸(株)、国立研究開発法人産業技術総合研究所、高松大学ほか	1,919 千円	実験を通じて得た知識・経験をアウトプットする場を設け、県内研究機関や県内大学との人的交流を通じて、香川県内の進路・進学を選択肢を増やすとともに、イベントに会場した小学生やその保護者にも県内研究機関や県内大学、県内産業等に関心を持つきっかけを創出する。
13	DX・デジタルを通じた理工系分野の興味・関心を高めるイベントの開催	★西日本放送サービス(株)、NTTコミュニケーションズ(株)、高松市、香川高専、香川大学、徳島文理大学	2,995 千円	DXに関する講演、参画大学等による地域課題解決に向けたDX等に関する取り組み紹介や最新のDX化に向けたデジタルソリューションを体験するイベントを開催し、中高生への理工系進学への期待感を高めることで県内理工系学部・学科進学率の向上につなげると共に、研究職・技術職を通じた地域課題解決に向けた人材育成、および女性の研究者・技術者育成を図るための興味関心を高める。

14	県内企業の多様な人材確保支援	★大学・地域共創プラットフォーム香川(香川大学)、高松大学、高松商工会議所、香川経済同友会、香川県中小企業家同友会、東かがわ市、土庄町	3,251 千円	プロジェクトチームを設置し、県内企業の中途採用や高度外国人材の活用、入社3年以内の早期離職者等に関する実態調査と分析を行い、長期にわたり県内企業等で活躍・定着する多様な人材確保のための具体的な対策を「PF」総会にて提言・提案する。
15	高大連携キャリアデザイン研修事業	★大学・地域共創プラットフォーム香川(高松大学)、県内8大学、高松商工会議所、香川県中小企業団体中央会、香川県、香川県教育委員会ほか	530 千円	香川県高等学校PTA連合会と協働し、高校生の保護者を対象にした「県内大学・短大合同進学説明会」を開催する。また、経済団体等と連携し、参加した高校生の保護者に対し、県内企業の魅力を伝え、県内就職に繋げるための取組みを併せて実施する。
16	香川わくわく子ども大学	★大学・地域共創プラットフォーム香川(徳島文理大学)、高松大学、香川短期大学、(株)エースシステム、(株)オーキッド、(株)レディ薬局、JA香川県、香川県、香川県教育委員会、高松市、さぬき市、宇多津町ほか	804 千円	小学生を対象として、小学校の長期休業期間を中心に、「香川わくわく子ども大学」として、各大学との特色を生かした講座を開設する。また小学生が保護者とともに参加できる講座を開催し、県内大学等や産業に関心をもつなど、将来的に香川県に関わるきっかけづくりを図る。
17	外国人材活用セミナー&交流会	★大学・地域共創プラットフォーム香川(高松商工会議所)、香川大学、穴吹学園、香川県	610 千円	外国人活用を考える県内企業に対しての留学生等外国人材の活用や雇用手続に関するセミナーを開催するとともに、県内企業担当者と県内留学生との交流会を実施し、外国人雇用への意識醸成を図る。

令和6年度 名義使用の許諾について

令和6年7月26日時点

番号 種別	行事名	主催者	共催者又は 後援者	実施目的	対象者	内容	開催時期等
1 後援	令和6年度ま ちのデータ 研究室	情報通信 交流館、 香川大学	【共催】かがわ情 報化推進協議会 【後援】大学・地 域共創プラット フォーム香川、 高松市、スマー トシティたかま つ推進協議会、 四国情報通信懇 談会	準公共分野を 担う地域のス テークホルダ ー(企業、自治 体、団体等)の DX 推進	高校生以 上の一般 市民	デザイン思考に よるアプリ・ソフ トウェア開発プ ロセスの体験、 実在する準公共 サービスの業務 課題の解決に向 けたシステム開 発／データ分析 の実践等	6/22～ 7/6
2 後援	高校生お弁 当の日甲子 園 2024	香川短期 大学	【後援】香川県、 香川県教育委員 会、宇多津町、 香川県高等学校 教育研究会家庭 科部会、香川県 栄養士会、大 学・地域共創プ ラットフォーム 香川	食に関わる SDGs への意 識を高め、食 品の賢い選択 と食を通じた 健康づくりに 自ら取り組む ことができる ようにする	香川県及 び近県の 高校生	「鶏卵を使った 弁当」をテーマ とした弁当のコ ンクール	《募集期間》 7/8～ 9/11
3 後援	KadaiDX シンポジウム	香川大学	【後援】大学・地 域共創プラット フォーム香川	県内の中小企 業に DX 推進 の機運を醸成 させる	デジタル 技術を用 いた業務 プロセス 変革を目 指す方、ノ ーコード・ ローコー ドツール を用いた 業務シス テム内製 開発に興 味がある 方	DX 推進に関す る講演、パネル ディスカッシ ョン、ポスターセ ッション、ハンズ オン	8/1・8/2

4 後援	リケラボかがわ2024	リケラボ 香川事務局（西日本放送サービス(株)内）	【後援】高松市、大学・地域共創プラットフォーム香川	中高生の県内理工系進学意識の醸成及び理工系女子の育成に向けた情報発信力を高める	香川県内の中・高校生及びその保護者	理工系・デジタルに関する講演会、県内理工系高等教育機関の取組み紹介、デジタルソリューションの体験等	8/25
5 後援	カーサ起業塾2024	（一社）香川学生支援会	【後援】大学・地域共創プラットフォーム香川	地域で持続的に発展する企業を起こす若者を育成する	香川県内の大学生・大学院生及び30歳以下の社会人	各分野の専門家による講習・ビジネスプランのビルドアップ及び発表	8/7～ 9/21
6 共催	2024年度香川大学危機管理シンポジウム	香川大学	【共催】（一社）国立大学協会、（公社）土木学会四国支部香川地区、（公社）土木学会安全問題研究委員会、大学・地域共創プラットフォーム香川 【後援】国土交通省四国地方整備局、香川県、高松市、四国経済連合会、（公社）日本技術士会四国本部、香川県防災士会、かがわ自主ぼう連絡協議会、四国官学連携防災・減災協議会、四国5大学連携防災・減災教育研究協議会、NHK高松放送局、RNC西日本放送、TSCテレビせとうち、KSB瀬戸内海放送、四国新聞社	香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構の活動成果を地域に還元し、地域の安全・安心に寄与する	関係機関、企業、一般市民、香川大学教職員・学生等	学外講師による危機管理研究に関する講演及びパネルディスカッション	12/9